新京日日新聞
夕刊　一月十一日
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 ／ 廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯局專用（3）二一二五 營業局專用（3）二三〇〇
發行人 河野榮忠 編輯人 □本勇 印刷人 水越内之介

休會開け議會旬日後に迫る

重要案件に對する政府對議會方針なる

適當な機會に首相は兩黨首訪問

【東京國通】政府は休會明け議會もいよいよ旬日後に迫つたので、對議會策に關し本格的協議を進めてゐるが、廣田首相は休會明けの適當なる機會に民政ならびに政友の兩黨總裁をそれぞれ訪問して議事の圓滿審議方につき懇請するはずで、各種の重要案件に對しては大體左の如き方針をもつて議會に臨む模樣である

一、明年度豫算問題

政府は明年度豫算において三十億圓を突破する尨大なる豫算を計上したが、右は現下の國際情勢に鑑み帝國々防の萬全を期する上に緊要缺くべからざるものであるとゝもに、産業の進展、國民生活の安定のために必要なる經費を計上せるもので、如何なる犧牲を拂つても成立を期せねばならぬ

一、税制改革問題

國民負擔の均衡をはかる建前から全面的な増税を含む税制改革を行ふもので、この改革は明年度豫算の骨子をなし變更する如き修正には應ぜられぬ

一、外交問題

自主積極外交の確立は現内閣不動の方針であり、さきに協定成立をみた日獨防共協定はこの方針によるものにほかならぬ、しかして對支、對ソは勿論、歐米各國に對しても國際的地位の重要性に鑑み、ますます國交を敦くし國運の進展と世界平和への寄與に努力する

一、行政制度改革問題

中央行政制度の改革については内閣に總務廳、經濟會議、人事局を設置し、恒久的に國策の綜合審議を圖り經濟と政治の關係を圓滑にする一方人事局をして行政の人的運營を公平適正ならしめんとするものである

一、電力國營問題

豐富低廉な電力を供給せしめるにある

一、國民生活の安定ならびに産業貿易の發展

明年度豫算の實施にあたつては物價騰貴、惡性インフレ等を豫防して國民大衆の生活の脅威を極力防止するまた廣義國防の見地より航空、海運、燃料、中小商工業對策を樹立、邦人の海外發展助長策に關しても萬全を期する

滿鮮水路協定覺書あす調印さる

第一回委員會は十三日開催

滿鮮水路協定覺書調印式は十二日午前十一時朝鮮總督府に於て行はれ、大野政務總監、李交通部大臣間に署名調印される、新京および京城において覺書ならびに兩當局談が同時に發表されることゝなつた、しかて同覺書は全文十ヶ條よりなり、鴨緑江ならびに圖們江の改修、浚渫、護岸、築堤など水路作業に關する限り滿鮮一如の精神を具現して、國境河川の觀念を捨て日滿兩國の國内河川として共同作業すべきことが各項目に强調されてをり、さらに滿鮮水路共同技術委員會設置の條項が設けられてゐる、しかして同委員會には委員長一名、委員四名が常置され、すでに日滿側より左の諸氏が確定して居り、その第一回委員會を十三日午前總督府において開催、いよいよ滿鮮水路共同作業の具體的交渉に入ることゝなつた

▲滿洲國側
委員長　交通部路政司長　平井出貞一
委員　同工程科長　蓮尾誌藏
同　安東航政局總務科長　島崎庸一
▲總督府側
委員長　内務局長　大竹十郎
委員　同技師　本間孝義
同　遞信局海事課長　岡田修一

楊虎城氏陝西省主席自稱

【上海十一日發國通】西安より當地に達した消息によると今回新任された陝西省主席孫蔚如氏は未だその職に就任せず、楊虎城氏は中央の命令に違反して自ら陝西省主席兼西安警備司令に就任したと稱してゐる

トロツキー氏歐洲戰爭豫言

【タムピコ「メキシコ」九日發國通】ノールウエーを追はれた國際的革命亡命政治家レオン・トロツキー氏は九日午前タムピコに到着した、メキシコに於るトロツキー派の領袖連タムピコ市長エドアルドコルチネツ氏等多數出迎へた

トロツキー氏は今後メキシコ國内に居住する筈であるが上陸第一歩に「歐洲戰爭は七十五パーセントまで起る形勢がある」と語つた

世界海運制覇目指す海國日本の躍進

五ケ年繼續豫算一千餘萬圓

【東京國通】海國日本に相應しい海運躍進マーチが新春とゝもに奏でられる、世界三位の海運國日本はすでに百噸以上の船舶四百二十一萬六千噸を有してゐるが、わが國の

實力

は現勢力を不足とし船舶六百萬噸保有をめざして進んでゐる、しかしわが船舶は最近歐洲方面、大西洋方面、濠洲方面ともにこゝ數年は英米獨の船舶に壓迫されて漸次減少の傾向を辿り比較的有利な日本近海の海運界に勢力を集注せる有樣である、從つて世界海運界の競爭場たる大西洋方面におけるわが船舶は一層減少の一途をたどり、昨年七月は卅三隻に減少した、これは各國こぞつて海運ならびに貿易保護政策を强化して來たのによるので、遞信省管船局ではこれまでの定期航路のみの補助政策を改め不定期船の遠洋航海にも助成費を出すことゝし、十二年度豫算に百七十四萬圓（來年度から二百三十三萬圓）五ケ年繼續一千一百六十五萬圓を計上し、海外新市場の開拓につとめ、外國公海における航路に積極的進出を助成することゝなつた、この遠洋航海助成實施により日の丸の船が

世界

の隅々までの新地盤開拓に多大の成果をあげるものと期待されてゐる

國際銀公司取調べの岡田警部歸任

總てを警視廳に移牒して

國際銀公司の日、滿、米を舞台として企んだ詐欺事件摘發の烽火を擧げこれが取調べに上京中の新京署高等主任岡田警部、搭尾警部補の兩氏は十日午後十時ひかりで歸京した兩氏は交々語る

萬顯東京着以來兼て當方より檢擧方を依頼して置いた德光氏等の取調べを開始し嚴重追及の結果その陰謀の全貌が明瞭となつた、その規模は豫想以上に尨大なもので實業家、政治家等の大立者にも關係あり內地に多々取調べを要する人が居るので、ことを一々新京迄呼ぶ事は困難なる上內地を本部とせる事件であるから新京署としての取調べの一段落と同時に事件も人物も全部警視廳に移牒して來た、決して事件にならないなどとは何處から出たか大きな間違ひである……

園公風邪で臥床

【興津國通】西園寺老公は興津坐漁荘に八十九の新春を迎へ頗る元氣で十日朝の關西旅行歸途の鈴木貫太郎大將と一時間半にわたり懇談を遂げた程であるが、午後から急激に寒さが加つた爲風邪に冒され臥床發熱し體溫卅八度に達したので、直ちに主治醫の勝沼博士が午後八時廿三分名古屋發十一日午前一時廿三分淸水驛着列車で老公の病床に馳けつけ來診中だが、何分高齢のことて側近者は病狀を憂慮してゐる

副業協會設立近く許可申請

産業國策に側面的援助

建國六年、滿洲國産業五ヶ年計畫の確立による有機的な農産政策は舊政權時代の虐政下に極度に疲弊せる地方農村に輝やかしい惠澤を齎すべく期待され、王道樂土の歡びは津々浦々まで普く行き亘らんとしてゐるが、この産業五ヶ年計畫の國家的大事業を側面に助成し、もつて農村振興に重大な役割をなし遂げる副業獎勵についてはかねてから實業部關係者、大興公司等を中心に痛感されこれが指導研究機關としての副業協會設置の機運が釀成されてゐたが、この程協會趣旨、會則其他の設立準備を全く完了近く各關係方面に設置許可の申請をなす筈である、同協會は斯界の權威者を集め滿洲獨特の長期に亘る農閑期を利用して從來の自給自足の程度を出で其他の家畜類の飼育法を科學的に大量生産せしめて市場進出を圖り羊毛によるホームスパンの製造等實質的な農村工業にまで發展せしめようとするもので近く實現の筈である

高久ビユーロー理事きのふ來京

滿洲視察旅行中であつたジヤパン・ツーリスト・ビユーロー事務理事高久甚之助氏一行は既報の通り十日歸途新京に下車し、各關係方面訪問の上同日午後九時五十分發列車で奉天に向ひ出發したが圖們、羅津、淸津、雄基、佳木斯、ハルビンを視察した同氏は左の如く語つた

滿洲は一昨年來て新京もその際みたのだが躍進途上にある滿洲の實狀を一年餘もみてゐなかつたしビユーローの事業を滿鐵に委せ切りにしてゐるので視察旁々挨拶事務打合せのため來たので別に重要用務はなかつた、當地始め京圖線、北鮮三港、佳木斯、ハルビンと一廻りして來たが一ケ年における在滿邦人の發展には誠に驚かされた、お蔭でビユーローの事業も益々擴張され重要視されて來た、現在ビユーロー滿洲支部管內（滿支兩國）にだけでも三十二ケ所の案內所か設けられてあるのだからいづれビユーローの豫算の許さるゝ範圍で滿支を統轄した觀光局の中央機關ともなるものでも國都に設けられるのではないかとも思はれるがまだ具體案は決つてゐない、いづれまた滿洲の實情を報て本部へかへつてからのことである

なほ奉天で鐵道總局と打合せの上朝鮮經由で歸京の豫定である

海軍大學生一行來京

海軍兵科指導官矢野大佐以下教官に引率された海東大學甲種學生廿八名は十日午後十時の列車で來京國都ホテル、新京ホテルに分宿、十一日は新京神社、忠靈塔を參拜、駐滿海軍部、軍司令部を訪問、午後は宮脇情報處長の講演を聽き、十二日は午前十時より滿鐵新京事務局三階大會議室に於て山口局長より「滿鐵の事業」に就いて約四十分間講話を聽き午後三時十分京濱線で哈爾濱に向ふ豫定

大鷹總領事今朝赴任

新任青島總領事大鷹正次郎氏は十一日午前十時發はとで赴任の途についた

中西理事來京

滿鐵理事中西敏憲氏は關係機關と打合せのため十一日午前八時十分着列車で來京した

大津總務司長

休暇を得て安東の嚴父見舞のため赴安中の大津民政部總務司長は十日午後十時着列車で歸京した

橘特高課長來社

新京憲兵隊特高課長に着任の橘武夫少佐は十一日本社へ挨拶に來社

林務司電話

十二月二十六日七馬路の舊國務院跡に移轉した實業部林務司の電話番號は各科共從來の通りで十日頃から開通の見込である

人事往來

着京

▲牛丸喜一氏（日華製油）十日來京國都ホテル
▲宮原利男氏（日滿商事）同ヤマトホテル
▲福原俊市氏（三泰棧）同
▲廣瀬金藏氏（三泰油房）同
▲大泉乙彦氏（吉原製油）同
▲中田谷三郎氏（臨津製油）同
▲遠山大八郎氏（通信記者）同
▲鳥原集一氏（官吏）同
▲土居彌生吉氏（商人）同
▲谷村檜三氏（同）同
▲石渡周次氏（コロンビヤ大連支店長）同
▲鹿島鶴之助氏（高等法院長）同
▲森芳人氏（膠濟鐵道）同
▲三澤止氏（同）同
▲藤森郡市氏（同）同
▲柴崎白尾氏（錦州領事）同
▲松井盛隆氏（官吏）同旭ホテル
▲田中重太郎氏（鑛業）同北滿旅館
▲中村三郎氏（鐵道總局）同大和新館
▲福島秀夫氏（官吏）同
▲古川保二氏（自動車業）同太陽ホテル
▲永田已代次氏（原田組）同
▲村山操氏（今川商會）同
▲大迫幸男氏（間島省總務廳長）同向陽ホテル
▲榊原透氏（日本製藥）同
▲加藤運平氏（官吏）同吉田屋

出發

▲大橋外交部次長 十日歸京
▲中西敏憲氏（滿鐵理事）同
▲片山九州夫氏（同）同
▲山田松德氏（滿鐵）同
▲井上喜六氏（官吏）同
▲金木房德氏（同）同
▲新堀榮氏（教員）同
▲大形孝平氏 十日發大連へ
▲高崎弓彥氏 同
▲田中九一氏 同
▲本田兵一氏 同
▲田中知平氏 同奉天へ
▲淸水龜氏 同ハルビンへ
▲三宅正美氏 同
▲村口義民氏 同
▲奥田邦市氏 同
▲栗原茂一氏 同
▲田中一平氏 同
▲田窪正信氏 同
▲三好幸三氏 同
▲宮崎小市氏 同大連へ
▲湯國男氏 同吉林へ
▲加藤敬三郎氏 同京城へ
▲矢野政市氏 同圖們へ
▲山岡貞男氏 同双陽へ
▲岩本軍男氏 同營口へ
▲鹽島莊夫氏 同奉天へ
▲大鷹正次郎氏（青島總領事）十一日發青島へ

その日〳〵

□ 休會開け議會迫り、政府漸く緊張、右顧左眄內閣の本領愈よハツキリ

□ 日系官吏の醜行暴露、現はれたものこそ絶えて久しいが數えあげれば……

□ 酷寒の襲來で水道凍結頻々毎年毎度のことながら主婦の心掛け一つ

□ 保稅倉庫が出來てもつと便利な筈と思つてゐたのが逆だといふ共に勉强が必要

□ 妓女にふられて青年服毒自殺、初めつから心臓はとまつてゐたかも知れぬ

歌はぬ樂譜（三十一）

山中峯太郎 作　水門謙二 畫

もつれ糸（一）

——澄江さんの秘密！

初めて聞くそれに、俊子は思はず目を見はつた。

——有力な實業家を、パトロンにもつて、それで洋行してきた。そこに澄江さんの『聲樂家』としての生活が、お金で縛られてゐた。

さう思はずにゐられない。華やかな獨唱の舞臺に立ちながら、その裏に、いまはしい秘密が、女性の蔭にはひそんでゐる。最近にも舞踊の第一線に立つてゐた有名な女性が『叔父さん』と呼んでゐるパトロンの執固い惡ごい手から脱れやうとして、行く方をくらまし、それが新聞にのせられてゐた。いはゆる『パトロン』の肉の餌食にされてる、その女性の一人が、あの岡澄江さんであつたのかと思ふと、俊子は、暗く胸を打たれた。

——あのやうに寂しさうにしてゐた澄江さん！……

その寂しさの眞相が、今初めて分つたやうな氣がして『女性』としての正當な道を、歩みはづしてゐたその人の生涯が、なほも寂しく思はれたのだつた。俊子は、ジツと眸をふせた。

正枝は、自分の言葉が、かなりの印象を、俊子にあたへたのを見て、なほ興味に乘つたらしく、

『さうなんですのよ。ビックリなさツて？それに、今言つた井上厚藏つて、ひどい人物なんですわよ。岡澄江にね、赤ちやん生まして、それきり……』

『まあ！』

俊子は、ハツとした。

——その子供が、あの道子さんだつたのか、きつと、さうだわ！

『まるで、ひどいでしよ！』と、正枝は昂奮しながら、急に息をはづませて、

『その赤ちやんを、どこかよそへやつちやツて、まるで井上厚藏は、知らない顏をしてるんだわ。でも、英子夫人は、厚藏と澄江との關係を、知つてるもんだから、それア凄く恨んでゐるんですのよ。あの有閑マダムが澄江を』

人の家庭の內部を語る、刺戟ある興味にそゝられて、正枝は、自分も目を見はりながら、

『そのくせ、あの英子夫人てば、澄江を恨んでる原因が、もつと別にあるんですの。それは、本野さんを、自分が追ひかけてゐたんだけれど、本野さんの方では、あんな有閑マダムを、見向きもしないんですの。それに澄江が、やつぱり本野さんを眞劍に思つてるもんだから、ね、お分りになつて？それで、英子夫人は澄江を、二重に恨んでゐるんですわ、だから、あの英子夫人、今でも本野さんの行方をさがしてるんですのよ、あなたの廣告を見て、すぐに會見を申し込んだりして執固いマダムだわ』

さういふ正枝もまた、英子夫人を、ひどく恨んでゐるらしい口調が、俊子の耳に、なんとも憂鬱にしみた。

その『本野』さいふ人に、けれど自分は、一度、さうして會はなければならない。亡くなつた澄江さんの爲に、さう思ふと、俊子は、目の前に昂奮してる正枝の瞳を見つめて、しづかに聞いて見た。

『その本野さんと仰有る方、何をしてらツしやる方でして？』

『作曲家ですわ』

『……』

『だから、澄江と知り合つてゐて本野さんも一時、井上厚藏の補助を受けてたんですの……』

『……』

言ひ知れない胸騒ぎを感じて、俊子は、だまつてゐた。

『でも、英子夫人が、追ひかけますし、澄江も本野さんに、とても眞劍なものですから、たうとう本野さんは、井上の家を出ちまつて、それきり今日まで、まるで行方が分らないんですの。この方ですわ』

正枝は昂奮しきつて、テーブルの上の紅い手提袋を、いきなり引きよせると、中をさぐつて、一枚のブロマイドを俊子の方へ、急に差し出して見せた。

保稅倉庫は出來たが「この不便と不利
內地から折角送つて來た品は腐つたり、凍つたり

商工業者の絶大な待望裡にさる十二月一日開設された保稅倉庫は年末、年始の繁忙期に際してその利用狀況は益す增加する一方であり、平均一日の

搬入 四十噸乃至五十噸、搬出三十五キロトン乃至四十キロトン殘留高四百キロトンにて、その受渡しに要する日數も輸入貨物到着通知、通關代辯人の輸入申告、稅關の代物檢查、課稅納入告知書の發行、稅金納入といふ幾多の手續を要するにも拘はらず、關係者一同の努力により四日乃至五日間にて完了するところまでに至り實際的に從來十四日間かゝつた大阪、新京間の輸送日數を十三日間に短縮する等奉天、哈爾濱に比して上乘の成績を示してゐるのであるが、一般荷主の中には保稅の眞意を諒解するところなく、殊に貨物到着と同時に從來の如く直ちに引取可能の如く考へ通關業務の遲延云々が相當論議されてゐるが、これは大連、安東等にて從來一週間乃至十日かゝりなほ查定不論の課稅をかけられてゐたのに比較すれば問題のないところである、然しながらこゝに開設早々の倉庫設備不完全により品物によつては到底折角の保稅倉庫も利用不可能にて從來の如く大連安東の通關を行ひみすく不利不便を甘受せざるを得ないといふ矛盾した狀態にあるものがある、それ等は殊に腐敗、變質、凍結し易き食料品果實、酒等であるが、年末年始に際し內地から心をこめた贈答品の如きものが保稅倉庫を利用したばかりに凍結して家庭に配達された時には既に何の役にも立たなかつたといふ例が甚だ多い、これは新京等の酷寒地にあつてはたとへ一日でも半日でも保溫裝置のない場所に放置せらるれば忽ち凍結するのは火をみるより明かなことであり、夏季に於てはこれと反對に冷藏裝置なければ忽ち腐敗變質し一般荷主の受ける損害は莫大なものに上るといはれてゐる、よつて現在食料品商等にあつては保稅倉庫を利用することなく從來通り安東、大連にて通關を受けてゐる現狀である

最も 保稅當局にても變質、凍結し易き物品には特急申請を許可し一日間にて搬出可能の便宜を計つてゐるが、これも業者の不馴等にて容易に實行されざる憾みがある、以上の樣な狀況に對しては稅關、驛等にも保溫、冷藏設備を有する倉庫の開設は必要缺く可からざるものとして目下研究中である

通關事務座談會

新京驛貨物發着事務所、保稅倉庫並らびに通關業組合では十二日午後二時から公會堂にて保稅倉庫通關事務に關する座談會を開催する

除隊兵採用試驗

鐵道總局の新京における除隊兵採用試驗は十一日午前九時から公會堂にて擧行され午後四時終了したが、受驗者總數八十餘名あり採用人員は成績によると

ちよつとの注意で水道は凍らない
一日六七十軒づゝ解氷申込

台所へ警報

本格的寒氣が國都を襲ひ十日の最低が零下二十三度七分、十一日が零下二十二度九分と連日のこの寒さでうつかりしてゐるうちに炊事場の水道は凍り、水便の水は止る、毎年ながら一寸の不注意からこうした水飢饉に會ふ家庭が激增して、水道工務所へ修繕申込むものが多く、千々岩工務所だけでもきのふは六十數件、十一日も正午までに既に六十五件の電話申込み者があつて忙殺してゐるが、この水道凍結を防ぐには夜も水を少量づゝ出し放しておけば決して凍るものでなく、出口近くの水管を眞綿で包んでおけば更に大丈夫だそうである千々岩工務所の電話は３―三六〇九番

ほんものを驚かした僞刑事は御用
チヤンチユーの勢ひへロ屋荒し

十日午後九時頃日本橋通り某半島人へロ屋の帳場で內地人と半島人が啖呵を切つてゐるのを同地先を警戒中の新京署財前、鄕兩刑事が發見靜止せんとしたところ件の兩人『俺は領警署の刑事である、禁制品の調査に來てゐるのだ貴樣等は何だ俺に用があるなら警察へ來い』と怒鳴るので驚いたのは本物の刑事君一寸用があるから外へ出ろと態よつけちがる兩人を戶外へ連れ出し本署へ引致したが、今度は驚いた僞刑事本物とは知らずに暴れた事を詫び一切を自白した

東京市巢鴨區建築業黑澤幸保（三十一）、半島生れ重寬（三十）の兩人で黑澤の宿西四馬路新亞洲旅館で支那酒に浮かれ出しへロ屋を刑事になりすまして威し步いてゐたものである

順天小學校 假開校式

順天小學校の假開校式は十一日午前十一時から嚴肅に擧げられたこの日吾等が學校の晴れの開校式に參列の五百の兒童たちは流石さむさもいとはず早朝父兄と連れ立つてどしく新校へ登校した、管理者鯉沼參事、岸水地方係長、瀬田電々人事科長その他各小學校長の來賓、二百餘名の保護者一同着席佐藤校長の開會の辭、君々代合唱、管理者鯉沼氏の訓辭、續いて學校長の誨辭あり、最後に保護者代理瀬田氏から挨拶が述べられ正午閉式された

第七小學校 順天小學校と正式命名

新京特別市同治街五百二號地に新築、十一日假開校式を擧げた新京第七小學校々名は十日附滿鐵社報で正式に「新京順天小學校」と決定發表された

新京商業軍 八戶中學と對戰

必勝を期して內地に遠征した新京商業學校ホツケーチームは日光に到着とともに直ちに猛練習にうつつたが、氷質惡く晝間は練習不能のため、早朝、夜間を利用し練習をつゞけてゐたが、十日は暖氣のため競技中止、十一日第一回戰にて北國の雄八戶中學と對戰することゝなつた

全滿氷上選手權大會 盛會裡に終了
スピードは朴、木谷兩選手獲得

【奉天國通】全滿氷上選手權大會第二日午後は零時より開始、各選手とも火花を散らす白熱戰を演じ五時すぎ盛會裡に閉會した、本大會における男子スピードは撫順の朴君女子スピードは奉天木谷孃、フイギュアー男子は新京田中君女子新京吉弘孃が何れも第一位となり、榮ある本年度の選手權を獲得した、成績左の如し

△女子五千米 1汾陽泰子一〇分三一秒七 2木谷妙子一〇分三四秒五 3江島八重子一〇分五〇秒 4今村俊子一〇分五八秒九 5壹岐イサ一一分二二秒（以上滿洲新記錄）

△男子三千二百米リレー 1撫順五分一八秒三 2奉天五分二二秒八

△女子千六百米リレー 1奉天二分三六秒六 2安東二分五五秒五 3撫順三分三秒六

△男子一萬米 1濱（奉天）一九分五五秒七 2安達和男一九分五六秒七 3朴潤哲一九分五八秒四 4牛島義男二〇分一秒七 5石塚庄三二〇分二四秒

△順位（男子） 1朴潤哲二一七・九一五 2安達和男二二〇・四一八六 3三代（正）二二二・一七〇六 4石塚庄三二二五・六一六 5濱三二三・六一五 6牛島義男二二八・〇一三 7山下勝友二二九・〇六 8阿部剛二三一・一一三 9廣本治郎二三二・〇一三 10三代（信）二三二・八〇六

△順位（女子） 1木谷妙子二三九・八八三 2汾陽泰子二四一・一〇三 3江島八重子二四四・三五 4今村俊子二四七・九五六 5村山節子二五一・一〇五 6村山菊子二五二・五〇 7壹岐イサ二五三・一一六 8木下ミツヱ二五五・二七六 9山本幸枝二五七・一一三 10林茂子二六二・六一六

ホツケー 醫大學生優勝

【奉天國通】醫大リンクにおけるホツケー試合は十時より開始、結局左の如き成績で醫大チーム優勝した

▲準決勝 醫大九―〇全新京 北斗五―一撫順

▲決勝 醫大二―一北斗

▲男子フイギュアー 1田中（新）一一〇、〇 2谷戶（吉）一〇五、七 3白石（新）八二、四

▲女子フイギュアー 1吉弘（新）六七、六 2坂田（吉）六一、四 3中村（新）五六、〇 4大本（新）五五、〇 5藤間（新）五三、二

內地派遣選手決定

總監督木谷辰巳、監督森田新

△男子スピード 河村泰男（奉）木谷清（安）朴潤哲（撫）安達和男（奉）三代正勝（撫）石塚庄三（撫）

△女子スピード 木谷妙子（奉）汾陽泰子（奉）江島八重子（奉）今村俊子（奉）

西村洋行新銘酒の名附親は誰？
應募既に千五百名に上る

本社後援のもとに創業三十周年を記念し新銘酒を發賣することゝなつたダイヤ街西村洋行ではこの酒名を廣く全滿から募集することを發表したところ、一週間も經たない現在既に千五百からの應募者があり係員もその盛況に面喰らつてゐる、沿線著名都市は言ふまでもなく遠くは熱河、赤峰チチハル、海拉爾、大黑河、よき日本酒に憧るゝ全滿左黨の健在を立證して餘りあると言へるわけであるが、それはとにかく中には既發賣の名稱の模倣かかなり見受けられるのは遺憾であるが、嶄新なのも尠くない、締切は一月末日限りで發表は二月十一日紀元節の本紙上にてなされる、官製ハガキの裏面に酒名（振り假名附）廣告揭載の新聞紙名を書き添へ、新京ダイヤ街西村洋行懸賞係宛續々應募されたいと

公學校志願 四百名 昨年より減少

新京公學校の新學年入學希望者願書受付けは先月十四日から昨十日まで〆切つたが採用人員二百十名に對して總受付人員は四百名の多數に達した、これが銓衡考查は十三日午前九時から常識、智能、身體檢查が行はれ十八日發表される、なほ昨年の志願者は五百三十五名であつたが本年は百三十五名減少した

女は弱い

開魯某官吏平田武（四十五）＝假名＝は熱河に居る頃知りあつた村本花（四十）＝假名＝さんが昨年七月女兒二人をが

（廣告）運命鑑定 煩悶は解決 失敗は再起に 急ぎ來れよ!! 運のよくなる觀相と易斷 適業 結婚 相性 家相 病氣 姓名 新京東三條通四二（滿鐵病院東側）

俳人松瀨靑々氏

【大阪國通】俳壇の巨星靑々事松瀨彌三郞氏は去る四日腦溢血で倒れ爾來大阪府下の自宅で療養中のところ九日午後四時卅分急逝した享年六十九

あす（十二日）

▲兩體育聯盟並本社主催氷上座談會、午後五時、西廣場

▲滿鐵俱樂部浪曲大會、公會堂

今晚の主なる演藝

▲六・五五カレントトピツクス（東京）▲八・〇〇義太夫碁太平記白石噺（揚屋の段）（東京）淨瑠璃竹本小土佐▲八・三〇吹奏樂（大阪）大阪吹奏樂團▲一〇・〇〇舞踏音樂（奉天）

天氣と氣溫

明日の天氣 西の風晴
日の出 前八時一二分
日の入 後五時二二分
月の出 前七時三八分
月の入 後五時二分
けふの氣溫 最高零下一三度八 最低零下三三度九

東五條通り白晝の大火
目下なほ延燒中

十一日午後零時半東五條通り二、早川洋行倉庫附近より發火火焰は天に冲し濛々たる黑煙空を覆ひ猛烈なる火勢を以つて延燒中である、消防隊は五台をもつて極力鎭火につとめつゝあるも本紙締切まで倉庫二棟を全燒、なほ附近は倉庫地帶にして重要なる中銀倉庫は隣接し非常に憂慮されてゐる

映畫と演藝

再映プロ　けふからの豐樂、新キネ

豐樂劇場、新京キネマ十一日よりの番組は左の如く日活、RKO二番線を配した三本立編成である

▽RKO「トップハット」フレッド・アーステア、ジンジャー・ロヂャースの共演する舞踊映畫、ドワイト・テイラーが自身書卸しものにより、アラン・スコットと協力して脚色、マーク・サンドリッチが監督に當つた例によつて御兩人の圓熟した妙技がふんだんにとり入れてある、キヤメラはデヴイツト・コイベル、作詞作曲はアーヴイング・バーリンの擔任

▽RKO「三銃士」アレキサンドル・デユマの「三銃士」の映畫化である、騎士道華やかな中世佛蘭西、劍豪と奸臣、美女と妖婦が入り亂れて展開する武侠劍戟ものがたり、主演者はウオルター・エーベル、他にポールルーカス、マーゴット・グラハム、モローニ・オルセンス等が助演、監督はローランド・V・リーの擔任になる

▽日活多魔川「花嫁日記」杉狂兒、市川春代、星玲子、松平晃の主演、この種甘もの映畫中の逸作

忠治子守唄　けふからの銀座キネマ

銀座キネマ十一日よりの番組は左の如くマキノトーキー二番線にフオックス作品を配した三本立編成である

▽マキノトーキー「千代田の双傷」比佐芳武のオリヂナルものにより松田定次が監督に當る作品、澤村國太郎、淺野進三郎、團徳麿、マキノ博子、林誠太郎、山縣直代等を主要な役割として、清廉潔白の旗本、小身ながら權勢に屈せぬ松平外記が、無暴な迫害と恥辱に堪へかねて遂に勘忍袋の緒を切つて奮然千代田の殿中に正義の刄を振ふまでの一物語り、キヤメラは大塚周一の擔任

▽同「國定忠治信州子守唄」伊藤大輔の原作によりマキノ正博が監督に當る作品、月形龍之介の特別出演を得て澤村國太郎、原駒子、光岡龍三郎、葉山純之輔、淺野進二郎、雲井龍之介、水原洋一、椿三四郎等オールスターキャストを動員、赤城を落ちた忠治が御堂の勘助が一子勘太郎を脊負つて苦難の旅を續ける悲壯の血涙史、キヤメラは藤井春美の擔任である

▽フオックス「狂亂の上海」スペンサー・トレッシーとフエイ・レイの共演するジヨン・フラオストンの監督作品

▽▽元和三勇士△△　甲陽映畫、下村建二が監督に當つた甲陽映畫第一回作品、社喜代子の原作により監督自身が脚色、嵐門光三郎、市川壽三郎、綾小路絃三郎を主役として元和年間の三勇士戸田新八郎、石川紋彌、田宮左金吾の武勇傳を綴る、他に日岡久、富樫付三、大塚田鶴子、貴志律子等が助演する、キヤメラは荒木慶彦の擔任、サウンド版、銀座キネマ十四日封切

雜音

長春座「新道」「春姿」を組んだ初日日曜日に相當して朝十一時半の開場後間もなく鮨詰めの滿員、果然物凄い當りを見せた▼前週再映プロも好況を見せたと言はれるから正月以來引き續いて素晴らしい成績を見せてゐる譯だ、昨年末のごたごたを想ひ出して湯淺氏にも一考せざるべからざるものがあらう▼次週はウイリー・フオルストの「たそがれの維納」が「愛の一つ家」と組んで登場する、前者は「マヅルカ」「未完成」の作者だけに期待されるものがあらう

サボテン

カルメンのモナカぢやなかつたモナコ君、かのジンヂャーロヂャースまがひのセーラーズボンをはいてお尻の曲線美を躍動させながら飛び歩いてゐる、「タップダンスぐらゐやれるんだけど、けふは浪花節にしとくわ」と、醉客の要望に應じて二、三唸つてみせたが仲々に上手い、一ぺん洋裝女流浪曲家といふところで公開して見たい▼サロンキングのいつチャンは醉つぱらふとホールを膝で歩く癖がある ひやかすと「でも、未だ腰を抜かさんところは偉らいでせう」と言ふ、然し、その上腰まで抜かしたんぢや一體どこで歩くことになるんでありませうか？

火曜　己亥　佛滅　開　尾宿

一月十一日　舊十二月十三日

● 一白の人　水火の性反するが如し何れが優りても不利　卯と丁と申が吉

● 二黑の人　瞬時も油斷なく努むれば從來の目的達成す　辛と壬と癸が吉

● 三碧の人　目指せる路は平かなり急がざるが吉病注意　甲と丙と丁が吉

● 四綠の人　見込外れを來たすも落膽せず一層の努力吉　丙と丁と辛が吉

● 五黃の人　自己の才能と他の力と合致して業績揚る日　丙と丁と辛が吉

● 六白の人　氣運の衰退甚し萬事差控ゆるが安全病注意

お酒に慶典

庚と酉と辛が吉

● 七赤の人　上り坂の重荷一息入れつゝ進むが安全なり　辛と壬と癸が吉

● 八白の人　更生の意氣儉烈にして大事をも遂ぐる吉日　庚と辛と壬が吉

● 九紫の人　血氣に逸れば一朝にして功を失ふ危險の日　丁と癸と丑が吉

世界を席巻した綿布 昨年より輸出減
市場の狹隘とブロック化を語る

【東京國通】輸出綿糸布同業會調査によれば、十一年度中の本邦綿布輸出總額は廿六億九千九百九十九萬一千八百二十三平方ヤード、金額四億八千百六十四萬二千七百三十三圓で、數量は一千百二十七萬四千二十ヤード(〇、四%)金額は九百八十一萬五千五百八十三圓(一、九九%)と各々減退を示したが、殊に金額の減退率が著しいのはわが輸出業者の安値賣競爭によるもので注目すべき現象である、しかして右は英印、蘭印、エヂプト、濠洲等重要市場中南米等の新市場の減退によるものであるが、世界市場を席巻したわが綿布輸出がつひに十一年に至つて減少に轉じたことは世界市場の狹隘化とブロック經濟の強化を物語るものである

綿糸生産高 昨年は新記録

【大阪國通】紡績聯合會調査昭和十一年中の綿糸生産高は三百六十萬七千四百五十一梱の多量に達し、わが國紡績史空前の新記録を示現した、これは過去の最高記録たる前年に比較すれば四萬六千六百十八梱半の激増である、高率操短にも拘らず、かく生産高の激増したのは本年一月より實施の聯合會の禁止的新錘制限を見越して昨年中に各社の増錘百五十萬錘と未曾有の數字に上つたゝめである

米國綿業使節 輸出自制要望
—その程度が會商の中心

【東京國通】アメリカ綿業使節團は日米綿織物通商問題に關し如何なる肚をもつて來朝せるものなるやは、關係方面の重視するところであるが、使節團一行が入京後記者團との會見で不用意に示した最初の聲明書(後刻これを撤回)には日本綿布輸出問題につきもし使節團と日本當業者との間に圓滿なる妥協が成立せざる場合アメリカ當業者は右に關し法律の制定を政府に要望し、もつて日本綿布の進出に對抗せんとするものである旨が記載せられてゐた點よりして今回の使節團一行は相當の決意のもとに來朝せるものであることが窺はれる

アメリカ側としては先づ日本綿布の對米輸出自制を要望することにならうが問題はその數量であり、果して如何なる程度を要求するかその點不明であるがわが當業者としては日本の綿布輸出はアメリカの生産高の僅か一パーセントに過ぎず何等アメリカ綿業に影響を與へるものでなく、米棉の主要消費者たる日本の僅少の綿布輸出を問題視することは延いてアメリカ棉花業者ならびに農民の利益を害する結果を招く虞れあること等を擧げ、極力アメリカ側の讓歩を要求し、圓滿なる解決をはかるものとみられてゐる

新京取引所 前週取引週報

混保大豆 先物 活氣滿々裡に越年し相場春高見越のところ、四日初立會は案外にも豫想を裏切り一月限六圓九十錢二月限六圓九十五錢と小甘く大發會、引續き內地商品界の弱氣配を眺めて人氣添はず、忽ち反落商狀を呈し一月限六圓九十三錢と崩れた、然るに休日(新年宴會)明けの六日は埠頭在貨激増の折柄海外市況亦冴えず一月限は實に廿錢方下放れて六圓六十八錢と寄付、嫌氣投げ物殺到に遂に六圓五十二錢の安値迄陷落を見た、而して跡玉整理一巡と共に相場は引戻し、週央より週末へかけては海外見送りに目先不透明乍ら思惑筋の活動に日々二十錢方の大巾高下を繰返し、六圓六、七十錢台を浮動したが大勢保合圏內を彷徨するに過ぎず、氣迷裡に一月限六圓七十錢、三月限六圓七十四錢と本年第一週を終つた

本週總出來高 二、四六六車
一日平均 四四四車
現物一等品 六車高値三圓ドタ 安値三圓ドタ
二等品 六車高値三圓八〇錢 安値三圓六五錢
三等品 九車高値三圓八〇錢 安値三圓三〇錢

普通大豆 先物 出來不申
現物 四車 高値二一圓七〇錢 安値二一圓ドタ

高粱 先物 初立會の四日は一月限、二月限共に四圓五十錢にて發會、休日明けの六日は大豆の歡調に伴れて一月限は三十錢、二月限は二十錢方の大崩落を演じたりしが、週末持直して一月限四圓三十五錢、二月限四圓四十錢と越週した

本週總出來高 七十三車
一日平均 一五車
現物 四車 高値一六圓ドタ 安値一五圓五〇錢

吉林の貿易事情(二)
—新京商工會議所調—

三、輸移入貿易

輸移入貿易品の主要なるものは綿糸布を筆頭に麥粉、建築材料、雜貨等の順位である

今昭和十年度輸入額を事變前(昭和四、五、六の三ヶ年平均)と比較し其の消長を窺ふに昭和十年度二千二百二十萬圓は事變前の一千二百九十三萬圓に比し約七割二分の増加を示して居る、斯くの如き輸移入額の増大は鐵道工事用材料、建築用材料及び軍需品が多額を占むることに基因する以外事變を契機として人口増加に正比例する生活必需品の搬入増加も著しいものゝ一つである

以下吉林市場に於ける最近日本商品の進出狀況並に之が滿洲國品及諸外國品との競爭狀態に就いて述べて見よう

イ、綿糸布

綿 糸

事變前在吉林織布工場を販賣對象として上海、青島等の支那品が營口を經て多量に輸入され、一部は滿洲並日本産品の輸移入を見て居たが事變後關税關係其他により支那産品漸減の一途を辿り、一方滿洲産品は國內産業保護の下に順調なる發達を遂げ其の製品桂月、双福の進出は目覺しきものあり

綿 布

事變前迄は一四番手及一六番手を原糸とする地場粗布及上海方面よりの輸入品が需要を充し日本綿布は關税運賃關係より入市困難なる狀態にあつたが事變後支那紡績品の敗退により爲替安を利用して日本品之に代つて飛躍的賣行を示し地場織布の販路をも蠶食し現在總需要の七五%は日本品を以て充足されて居り其の輸入經路は安東經由が大部分である

ロ、絹 布

事變前迄は杭州産品斷然賣行好調を示したるも事變後支那品輸入關税の徴收と産地高とにて相場昂騰し日本品採算有利となり尚且斯業者に於て光澤、模樣等滿人趣味に合致すべく改善したる結果賣行激増するに至つた

現在に於ける支那品の輸入は山海關方面からの密輸と言はれて居る

ハ、人絹布

事變前は上海物と日本物と相拮抗して猛烈なる市場爭奪戰を展開したが事變後關税、銀高關係に支那品の輸入困難となり漸次當市場より影を沒し日本品が壓倒的優位を占むるに至つた

ニ、毛織物

事變後來住邦人の激増により滿人の趣味は俄に日本化して官吏及一般商民は從來の綿服よりサージに轉向するもの多く毛織物の需要頓に増大し事變前より確固たる地盤を保持して居た日本品は愈よ其の販路を擴張し價格に品質に斷然他製品を壓して居る

ホ、化粧品

化粧品中外國製品殊に歐洲品は高價なるため事變後需要頓に減退し之に代つて價格低廉にして然も品質優良なる日本品の進出旺盛となり又滿洲産品の需要も漸増の傾向にある

ヘ、玩 具

大阪東京方面からのセルロイド玩具王座を占めて居るが之等日本産玩具は安價にして精巧なる爲好評を博し全需要の九五%を占めて居る

ト、ゴム靴

本品の流行は吉敦鐵道施工當時邦人鐵道請負業者により持込まれたるに始り漸次需要層を擴大して現在一般滿人間に廣く愛用さるに至り、當市及背後地を含む一ヶ年の消費は大約五五萬足で當市のみにて二五萬足內外と推定される、而して最近朝鮮方面よりの進出に格安なる奉天物が相當消費され五%の輸入地位を占むる

多事を豫想される 今年の土建界
問題は建材の騰貴と勞働者

滿洲國建國以來年々一億數千萬圓に達する土木建築事業は直接工事に關係の深い請負業者は勿論材料商、金融業者等にも均霑して所謂滿洲景氣の原動力となつたのであるが、十一年度以降凋落に向はんとしつゝある工事界は一般經濟界までに惡影響を及ぼさんとしてゐる折柄産業五ヶ年計畫の發表は各方面より非常に歡迎されてゐる、而して十二年度の工事總額は一億三千萬圓程度とみられ一般民間事業の勃興と相俟つて全滿各地とも依然工事景氣を持續することは明かである、然し工事に直接關係のある企業者側並に請負業者工事材料商側の經濟的立場より觀測すれば案外樂觀を許さぬものがある、即ち工事材料の大部分は內地方面から供給されてゐたが打續く軍需景氣に煽られて最近內地市場は材料の不足を生じ、之が爲め鐵材、レール等は騰貴し唯洋灰のみは過剩となるも建築費は依然膨脹するものと見られてゐる、次に勞働者の需給關係についても年に二十數萬人使役する勞働者の中十二三萬人は支那人苦力に半島人內地人を補充してゐたが、近時內地並に朝鮮に於ける諸産業の勃興に伴ひ入滿勞働者の數は極度に減少しつゝあり、之が對應策としては山東、天津方面より募集する以外には從來の入滿許可數約十萬から今年は少くとも十五、六萬人を必要とする見込であり相當多事多端を豫想されてゐる

都市建築と新線が中心

滿洲建國と同時に飛躍的な活潑さを示した滿洲に於ける諸々の工事も昨年度は一寸一服の狀態であつたが新春を迎へた滿洲土建界は更に九、十年の最盛期に優る好況繁忙を豫想せられる、ことに本年を以て建國五周年、滿洲經濟建設も愈よ第二期に入り産業開發五ヶ年計畫案が樹立され工業部門も一大飛躍を遂げ、更に土建界の最大事業とも云へる新線工事も滿鐵財政不如意とは云ひあらゆる手段により是非とも第四次線の敷設を敢行する事となり是れが爲め新線工事を目ざして大連、新京に滿洲本部を置く業者は猫も杓子もと云ひ度いほど奉天に主力を移しつゝあり滿洲土建協會本部の奉天移轉も既に決定濟みと云ふ、然し新線工事は事變直後の嚴寒と匪襲に惱まされながら潤ひの尠きを嘆たず一意國策事業の遂行に努力した心構へを持つ者のみに與へられる天與の工事だけに指命に加へられる組こそ實力ある一流業者と云へやう、勿論利潤の尠少なる事は再言を要しまい、一方都市建設工事は牡丹江、チチハル等一服の姿で何んと云つても國都新京は建設事業も第二期計畫に入る外宮廷府、市公署、公會堂を始め民間建築物に相當の繁忙を豫想せられるので一流組の奉天集中に依り二、三流組の堅實なところが相當潤ふこととならう

對岸へ架設の三橋先づ決定
—解氷期とともに着工—

過般新京に於て行はれた滿鮮國際河川橋梁架設の調印に基き滿鮮當局では之が準備に忙殺されてゐたが、今年度架設すべき橋梁は次の三橋と決定し今春解氷とともに着工することゝなつた

滿洲國側工事
會寧(豆滿江)
長白(鴨綠江)
朝鮮側工事
清城鎭(鴨綠江)

一月上旬の 對外貿易概算

【東京國通】大藏省發表＝一月上旬對外貿易概算左の如し(單位千圓)

輸出	一五、九九三
輸入	二八、三六〇
入超	一二、三六七

同旬における重要品輸出入額左の如し

▲輸出

品目	金額
綿織物	一、九九五
生糸	一、三三一
人絹織物	八八二
鐵	二七三
機械類	四四五
罐詰食料品	一六五
絹織物	一二一
メリヤス製品	一二八
毛織物	二二四
植物油	二三三
陶磁器	八三
鑛製品	二四七
綿織糸	二二九
玩具	三一六
人絹糸	一四七
紙類	一八七
木材	三七
精糖	一六六
帽子	一〇〇
小麥粉	二六二
其他	七、〇二八
計	一四、五七九

▲輸入

品目	金額
棉花	五、四五〇
羊毛	一、〇九一
鐵	一、三一三
原油及重油	五九五
機械類	八九一
豆類	二、〇三三
生ゴム	二、七九六
パルプ	八七七
木材	八四
石炭	九八八
鋼	八三
硫黄	—
採油用原料	一、一六一
自動車及同部分品	一一六
油粕	三八四
小麥	二二二
揮發油	一一二
鋼	三七五
麻類	六一三
砂糖	一
その他	七、三四八
計	二六、五三三

國産工業 日立製作所に合併決定

【東京國通】日産系資本下にある日立製作所ならびに國産工業は統一合併すべく種々方策を重ね來たつたが八日いよいよ合併、假調印を了したので二十七日兩社同時に株主總會を開催正式に國産工業の日立製作所への合併承認を求むることゝなつた、合併後の新會社は現狀のまゝ日立製作所の名稱をもつて呼ばれるはずで、公稱資本は一億一千四百萬圓となるはずである、なほ合併期日は四月一日か五月一日の豫定で新社長には小平浪平日立製作所長が就任する

圖們商工會議所 本格的活動へ

【圖們國通】圖們商工會議所昇格は諸般の手續を了し、舊臘末をもつて大使館より昇格認可の指令をうけた、あたかも年末年始の繁忙期ではあり且つ商工會長中島氏が五日より郷里高知縣に旅行中であつたので氏の本月下旬歸任をまち、遲くも本月廿三、四日頃をもつて新規の總會を開き會議所としての改組並びに新役員の選擧を行ひ、いよいよ本格的の會議所としての活動に乘出すことゝなつた

奉天市公署 今春の諸工事

奉天市公署では豫て設立計畫中の家畜市場及屠獸、畜肉の三大市場は總工費六十萬圓で設立されることに決定、又市公署新廳舍と八十萬圓を以て今春解氷期と共に一齊に工事に着手することゝなつた、同時に市立小學校二校(工費八十萬圓)も同時に着手することゝなつてゐるから土建界は異常な活況を齎らするものと期待されてゐる、

奉天省に 土木廳を新設

奉天省では今回政府の地方費設定ならびに土木局新設に伴ひ省內の土木行政の圓滑なる進行を期するために民政廳土木科國道局奉天建設處、同建設事務所を合併して新たに土木廳設置することになつた、主なる顏役は廳長中村定輔、庶務科長柴田一勝、工務科長楠田謙二、技佐太田長四郎、同坂本信治である

商況欄 (一月十二日前場)

海外經濟電報

倫敦銀塊	二一片八分一
同 先限	二一片一六分五
紐育銀塊	休會
孟買銀塊	五二留比八分五
米英爲替	四弗卆仙八分一
米日爲替	
米支爲替	二九弗八五仙
スチール株	八〇弗八分一
アナコンダ	五五弗〇〇
英日爲替	
英支爲替	
日印爲替	七七留比〇〇

▲米 棉

現物	一三仙〇六
一月限	一二仙三九
三月限	一二仙四六
五月限	一二仙三三
七月限	一二仙二六
十月限	一一仙八八
十二月限	一一仙八六

▲印 棉

ブローチ	二三八留比
オームラ	二〇四留比
ベンゴール	一七七留比

▲市俄古小麥

五月限	一弗三四仙〇〇
七月限	一弗一六仙四分一
九月限	一弗一三仙八分三

▲カルカッタ麻袋

青筋	二二留比〇〇
錄筋	二四留比四分一

金銀市況

●上海標金 本寄 二五四、九

爲替相場

▲上海爲替 ▲日本向 第一回 賣 買 一〇四、 一〇五、 [illegible]
第二回 賣 買 [illegible]
▲倫敦向 第一回 賣 買 一志二片 一六分三 [illegible]
第二回 賣 買 [illegible]
▲紐育向 第一回 賣 買 二九弗 四分三 [illegible]
第二回 賣 買 [illegible]
▲大連爲替 ▲上海向 一〇三、三七五
▲阪神日米爲替 第一回 二八弗 二分一 八五分
▲阪神日英爲替 第二回 一志二片 一六分三

各地株式市況

▲東京株式(短期) 寄付 高値 引
東新 満新 鐘新 大満 [illegible]

▲大阪株式(短期) 寄 引
大新 東新 鐘産 日新 日書 [illegible]

▲大連株式(短期) 寄 引
五品 豆新 鈔新 東新 満新 二新 日産 鐘新 [illegible]

▲奉天株式(短期) 寄 引
満取 東新 大新 日産 五品 豆新 鐘新 満毛 優先 満鐵 同新 電甲 同乙 東拓 満興 日書 東亞 [illegible]

各地商品市況

▲大阪棉糸 寄付 大引
一月限 二月限 三月限 四月限 五月限 六月限 七月限 [illegible]

▲大阪棉花 當限 先限 [illegible]

▲大阪人絹 當限 先限 [illegible]

各地特産市況

▲大連大豆 寄付 大引
袋入 一月限 二月限 三月限 四月限 五月限 三等現物 [illegible]
●同 豆粕 現物 一月限 二月限 三月限 四月限 五月限 [illegible]
●同 豆油 現物 一月限 二月限 三月限 四限月 [illegible]

新京取引所市況 (一月十一日前場)(一石値段)

現物 寄 引 出來高
大豆 高粱 小豆 吉豆 玉蜀黍 包米 [illegible]
●大豆 一月限 二月限 [illegible]
●高粱 一月限 二月限 [illegible]

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價　一部五錢　一ケ月壹圓
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用(3)三二二五　營業局專用(3)三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

ドイツ人の即時追放

佛、革命軍政府へ警告

出方如何で實力を行使

〔パリ十日發國通〕フランス政府はスペイン領モロッコにおけるドイツの活躍を重大視し革命軍政府へ重大警告を發したが、十日フランス參謀本部筋では革命軍政府がモロッコからドイツ人侵略者の即時追放を拒否する場合にはスペイン領モロッコを實力をもつて占領する決意だと言明した

"日本義勇軍モロッコへ

革命軍應援に出動"

ハアヴアス、ロイテルのデマ

【ヂブラルタル十日發國通】ハアヴアス通信社は信憑すべき報道として日本人義勇軍約三千名がスペイン革命軍應援のため近くカヂスおよびヘレスに到着するはずだと傳へてゐる、右報道は明かにスペインを繞る國際情勢の紛糾を利用せんとする惡意の捏造とみられるが一方ロイテル通信社も消息通の報道として日本人義勇軍約五千名が今週中にカヂス港およびヘレスに到着することゝなつてをり、兩地においては日本人義勇軍を迎へる準備中だと傳へセンセーションを起してゐる

"最も惡質のデマ"

我が外務當局憤慨

【東京國通】數千の日本義勇兵がスペイン反政府軍を援助のためスペイン西岸カヂス及ヘレス等に上陸せんとしてゐるとの佛英兩國の半官通信、ハヴアス、ロイテル兩社の報道に對しわが外務當局では歐洲政局の展開に利用せんとする最も惡質のデマであるとして憤慨してゐる、最近ソ聯、フランス等の左翼諸國ならびに歐洲の現狀維持を希望する英國政府の支持するスペイン政府軍の旗色が著しく惡化して來たので、日獨防共協定の締結によりフアッショ陣營に加入したと誤解されてゐる日本が、義勇軍を送つていよいよスペインまで乘出して來たのだと宣傳することになり、フアッショ陣營に對する各國の輿論を惡化させ宣傳により戰局を有利にしやうといふことは豫想されゐるところであるから、今回のデマ放送もスペイン政府軍加擔の歐洲各國から宣傳されたものと信ぜらるるがわが外務當局では右の如き宣傳は影に怯へる歐洲各國の白晝夢なりと一笑に附してゐるが、かゝるデマを放置しておいてはわが公正なる外務方針を著しく誤解せしめる憂ひがあるので、有田外相は十一日歐洲各國駐箚使臣に訓電を發しデマの出所を探究せしめると同時に關係國政府に對してもかゝる惡意の放送の取締方を要求するやう指示を與へた

首都防衛軍から

市民の撤退を要求

【マドリッド十日發國通】革命軍のマドリッド攻撃は兩三日來頓みに猛烈を極め首都攻防戰はいよいよ最後の段階に入るのではないかとみられるが、首都防衛軍一方の指揮官リスター少佐は十日午前ラヂオを通じて、なほマドリッドに踏み止つてゐる市民全部に對し首都撤收を要請した

滿洲國々債應募

預金部運用委員會で可決

【東京國通】大藏省預金部では十一日午後第六十二回預金部運用委員會を開催國債引受および滿洲興銀に融通のための滿洲國々債應募以下六件ならびに今議會通過によつて融資すべき資金に關する假決議四件を附議、左の如く預金部原案通り可決した

第一　國債の引受又は買入の件　資金七千萬圓を限度として國債の引受または買入をなすこと

第二　滿洲國々債應募の件　資金二千五百萬圓を限度として滿洲國々債の應募をなすこと

二千五百萬圓を限度

【東京國通】大藏省では滿洲興業銀行の事業資金として二千五百萬圓を限度に滿洲國債の應募をなすことゝなり、十一日午後一時より藏相官邸において開かれたる預金部資金局委員會に附議正式決定發表をみたが右は滿洲國政府より興銀へ貸付けるものであつて得たる低利の日本圓資金を滿洲國政府が國債を預金部に賣却し、これによつて得たる低利の日本圓資金を滿洲國政府より興銀へ貸付けるものであるなほ預金部が直接興銀に融資せず滿洲國債應募の形式をとつたのは現在預金部資金運用規則が外國銀行に對し直接融資出來ないことゝなつてゐるためである

閣議決定事項

十一日午前の國務院會議における可決事項左の如くである

一、地籍整理に伴ふ手數料に關する件

理由＝目下一部地方に實施中の地籍整理法の成果は直ちに人民の産權確定行使、土地取引の安全圓滑を來し經濟進展に寄與するところ多く、人民の受益も亦大なるものあるので人民より輕度の手數料を徴集し本事業に要する經費の一部に充當するものである

二、興業金融公債法

滿洲興業銀行設立の趣旨に鑑みて營業資金を充實せしめ國內産業の開發を助長せしむるため公債を發行するものである

三、康德四年度各特別會計追加豫算

興業金融公債に伴ふ特別會計の追加豫算

四、人事

副税關長(大連)　矢田劣一
陞敍簡任二等　副税關長　矢田劣一
辭官
税關技正(大連)　志賀俊夫
任副税關長(大連)
簡任二等

毛澤東、楊軍と連絡

抗日戰線を擴大

中央との一戰を決意

【天津十一日發國通】目下西安には共産軍首領毛澤東、周恩來等あり、舊東北軍、楊虎城軍との連絡全く成り抗日人民戰線の擴大工作に狂奔し、楊虎城氏は民團を改編するや地方壯丁を徴發して約三ケ師の軍隊を增編し西安西部方面の警備に當らしめる一方參謀團を强化し、何柱國を參謀團長に、王以哲を副團長に任命していよいよ内部强化をはかり中央との一戰を決意せる模様であるが、市內はこれがため頗る混亂し紅軍の傳單撒布されるなど一般民衆は頗る動搖し、西安は今や將に武裝赤色の都と化さんとしてゐる

全日本に暴力革命

黑色テロ陰謀發覺

一味事前に檢擧(十一日解禁)

【長野國通】長野縣下を核心に全國をアナーキー、コンミユーン黑一色に塗りつぶさうと企てた秘密結社農村青年社のテロ陰謀が去る昭和十年二月日本無政府共産黨の檢擧に端を發して發覺、當局では右陰謀事件の報道を禁止して極力これが摘發に努めたところ意外にもこの陰謀組織はほとんど全國にわたつてゐることが判明長野、をはじめ北海道、東京、大阪、神奈川、新潟、靜岡、埼玉、千葉、茨城、愛知、山梨、福島、青森、山形、秋田、岡山、山口、德島、愛媛、佐賀の各府縣におよび檢擧數三百數十名、その内起訴せられたるものは卅四に上つた、その殆んど大部分は舊臘豫審を終結したので十一日正午新聞記事は解禁された

この無政府主義秘密結社農村青年社は昭和六年二月頃結成され、本部を東京府下目黑町下目黑九三二に置き昭和七年九月結社、その後その組織は解消したが、その精神と方針をもつて依然活動を繼續したもので從來のアナ運動が都市に中心を置き、理論鬪爭に主力を注いでゐたのに反し觀念的運動よりも日常鬪爭に主力を注ぎ、しかもその組織は農村に中心を置いて自主分散聯合組織と稱する組織方針を採用した、自然の地形たる村落を基礎體として分散し自主的に活動するもので一村部落單位の內的充實をはかり順次から次へと網の目狀に聯合しつゝ擴充せんとする組織であつた

昭和六年十月末に至りいよいよ全國の情勢が熟したとなし殊に當時長野縣下の農村が繭價暴落のため極度に窮乏し農民の意識もまた尖銳化した機を狙つてこの地方を中心に武裝蜂起し續いて全國的に暴力革命を遂行せんと計畫しつゝあるところを事前に發覺未遂に終つたものである、この目的達成のため一味は遠く上海まで武器入手の手を延ばし、資金獲得のため竊盜團まで組織し着々具體的準備を行つてゐたもので、取調べの進行とゝもに次々に暴露される深刻なる大陰謀には流石の係官一同も愕然としてゐるといふ

首魁の名前

【東京國通】黑色テロ事件で起訴された卅四名の中首魁は左の十五名である

岡山縣著述業宮崎明(三八)茨城縣著述業鈴木安之(三五)長野縣著述業八木明(四三)靜岡縣著述出版業望月次郎(二六)長野縣鳶職田代義三郎(三一)廣島市製菓工和佐田義夫(二七)長野市印刷工增田貞二郎(三〇)富山縣印刷工松藤鐵三郎(三〇)長野縣新聞記者南澤袈裟夫(三三)長野縣農業伊澤八十吉(三一)長野縣印刷工島津德三郎(二六)長野縣職工山田明(三二)鹿兒島縣著述業星野準二(三一)長野縣農業高野原長義(三三)埼玉縣事務員三上義藏(三六)

航空往來

▲中田六郎氏(商人)十一日ハルピンへ
▲山本光治氏(官吏)同牡丹江から
▲佐藤彬氏(同)同
▲山本登氏(鐵道總局)十一日來京中央ホテル
▲岩本海軍大佐　同
▲岩佐久吉氏(朝鮮總督府)同
▲山田熈氏(官吏)同

個語

各方面の注目をひいた國際銀公司事件は取調べのため東京まで出張した新京署高等課主任の▼峻烈なる取調べにより事件の全貌か白日下に曝されたが▼登場人物の關係上事件を警視廳に移牒して歸任した▼該事件の取調べにより內地各界の人々が如何に滿洲に對する認識が足りないかを如實に物語つてゐる▼一例をとつて見ると該事件の中心人物たる黑龍王とは▼曾て滿洲に於て不良分子をかり集め禁衛軍といふ馬賊團體をつくり▼滿洲に居堪らず內地に去つた安藤三之助のことで彼は▼東京に歸るや曰く禁衛軍大總統黑龍王殿下と稱し▼滿洲には〇〇でさへ手のつけられない土地があつてそこには周圍二十里に亘る湖水があり▼その湖水一面に水面より八寸の高さに石油がただよつてゐるので▼その石油を採取するのも國際銀公司の事業の一であると滿洲にゐる者は子供でも本氣にせぬやうな出鱈目を並べてゐる▼その出鱈目を東京で有識者階級にある人々が絕對に信をおいてゐたといふに於いてはその不認識さに啞然たらざるを得ない▼この一事に徵しても在滿各機關は今少しく內地人に對する滿蒙宣傳に力を入れねばなるまい

平戰兩時の重要國策(3)

對滿移民廿年計畫

千振郷の近況報告

左記は第二次移民團たる千振郷(湖南營)よりの近況報告であるが、苦難四年の歴史を閲したこの移民團の最近の生活或は地方滿人との融和狀況等諸種の環境を傳へてゐる

□……□

本團の事業は順調に進んでをり、團員および家族は將來に大なる希望を抱いて、或は農耕に或は牧畜に或は雜事に日々孜々として奮鬪してゐる、康德三年の農耕は各村(出身縣別による各部落)とも概ね數名をもつて農友班を組織し、共同耕作をしてをり、中には個人經營をなす者も相當ある、團員の努力は勿論であるが、妻女達の働きも實に目覺しいものがある、彼女達の多くは子供を抱へ未明(北滿の夏の未明は午前三時前)に起き出で炊事をなし、四時までに食事を終り、子供を背にして働き夕刻になれば一足先きに歸宅して夕食の仕度をなし、風呂の準備をするなど、全く男以上の働きをして居り、炎天に曝されて子供まで眞黑に日焦けする有樣である、この働きぶりその神々しい姿には自ら頭が下り、唯々感激の念あるのみである

今年(康德三年)は春以來降雨多く、作物の生育良好であるが草丈伸び過ぎ軟弱に失したる感があり、就中小麥は濕潤な氣候が影響して生長黑穗病發生甚しく作柄は平年作におよばぬのではないかと憂慮されてはゐるが、それ以外の作物は目下のところ豐作の見込である

加之團員の作物は滿人のそれに比して優れ、特に煙草野菜類は良好である、團員は既に胡瓜、茄子、甘藍、トマト等を出し食膳を賑して居り、なほ生産物の一部は團員も妻女も自ら擔ひ或は携げて湖南營市街に賣りに出てゐるが、妻女達でも毎日二圓內外宛の賣上がある、滿人の栽培する蔬菜は未だ收穫の時期に到らずその差違の大きいのに何れも驚嘆してゐる、日本人移民が耕作上において如何に滿人を啓發しつゝあるかはこの實情を見ても一目瞭然である

團員は滿人を愛撫し、滿人は團員を敬愛して極めて親密に交つてゐる、千振郷內には獨立守備隊〇〇〇隊駐屯してをり、地方の治安維持に任じてゐるため郷內は概ね平穩であつて團員も地方滿人も安心して生業にいそしんでゐる、これに引換へ商租地域外は匪賊の跳梁跋扈甚しく、その飛沫が時折商租地區內にもおよび小匪賊が現はれるが地區外に比較する時は問題にならぬ安寧さである故に滿洲國人の千振郷內に移住する者頗る多く、二年前までは五〇〇名を出でなかつた湖南營市街住民は、最近四、〇〇〇名を突破し、部落の滿洲國人も著しく增加して千振郷內滿鮮人數は合計八千に垂んとし、眞の王道樂土を實現してゐる

これによつてみるに移民團が滿洲各地に設置さるゝことは安全地帶を增加する所以であつて、滿洲國の永久的治安維持は日本移民の定着がその根幹をなすものと信ずるのである

本格的大量移民へ

如上の如く數次にわたつて入植された試驗移民によつて各方面より諸種の試驗が遂行せられたが、その結果自然的條件においても、農業技術においても滿洲就中北滿洲においても日本人農民が成功することが確實に實證された、これにおいて拓務省は昭和十年度よりは本格的に滿洲農業移民を斷行することに決定し、同年中五〇〇戶の集團移民を送るとゝもに資本金一千五百萬圓をもつて滿洲拓殖株式會社を設立し、百萬町步(三萬五千戶入植可能)の日本人移住地の取得管理をなさしめこれを移民に分讓するとゝもに、低利資金を融通する事業を開始した、一方國策的に大量移民の斷行を企圖し、前述の如く國策閣議の採擇をまつてこれを實行に移し、愈よ昭和十二年度より本格的に大量移民事業を開始することゝなつた

過去に於る失敗原因

滿洲事變前における滿洲農業移民の各種の目論見が殆ど總て失敗した事實に徵し、滿洲農業移民の成功は不可能であると妄斷する者もあつたが、當時の失敗の原因は

一、移住地が關東州內又は滿鐵附屬地の狹少不良の土地に限定せられたこと
二、移住農民自身に出稼氣分強く定着性が薄弱であつたこと
三、移民送致およびその入植等に關する計畫が不適當で且つこれが實施も不徹底であつたこと
四、內地一般國民および官邊より何等の後援なく從つて國家的意味の薄弱であつたこと
五、當時の支那側官憲特に東北政權ならびに地方官民が日本農業移民の成功發展を妨害したこと
六、土地の取得が困難であつたこと

等を列擧することが出來る

然るに滿洲國成立後の狀態は各般において改善せられ即ち(一)日滿不可分關係は事實上および條約上確立して、日本人の土地取得は自由安全となり(二)優良農民が進んで滿洲に定着する國家的觀念をもつて滿洲に移住するの機運が旺盛となり、さらに(三)滿洲國政府は進んで日本人農民の渡滿を歡迎するに至り、滿洲事變前とは全く異る環境を顯出するに至つたものである

社說

外交參謀本部案
その實效に期待薄

一

スペインを繞つての國際的對立紛糾が相當憂慮さるべき狀態に達してゐることはもはや疑ふべくもない。殊にスペイン領のアフリカ各地が續々として獨逸陸海軍の根據地と化せんとしてゐる事實、更にフランス政府が獨逸軍のスペイン領モロッコ占領を危惧し實力をもつてこれを阻止するに決し陸海空の三軍を動員してフランス、スペイン、モロッコの境界地帶を封鎖する方針であると傳へられてゐる如き、事態はまさに一觸即發とも言はるべき程度にまで到達してゐるのを思はしめる、このやうな時に於いて、英國政府が、歐洲主要國政府の代表をもつて「外交參謀本部」なる機關を創設することを企圖してゐることは一應われらの注目すべきところであらう。

二

この「外交參謀本部」なるものの主旨とする所は、これまでの不干涉委員會の事業が遲々として進まず殆んど活動不髓の症狀に陷つてゐるのに鑑み、それは單なる討議機關としての實質的作用をしか行つてゐないとし、新しくロンドンに駐剳するフランス、獨逸、ソ聯、ポルトガル、伊太利等の各國大使をもつて、義勇軍派遣その他不干涉協約違反の防止をはかる、このために直接且つ有效な方法を實施することにするといふのである。われらをして言はしむれば、不干涉委員會の不成績が實際にその效能をあげ得ざらしめるやうな各國それぞれの利害と欲求を反映しての露骨な對立といふ當然な理由によつて導かれたものであるといふことを知る以上、これから裝ひを變へ「外交參謀本部」なるものが生れ、それがどれだけが實際的な働き掛けの力を持つべきことを豫定されやうとも、依然それによつて如何程の成果をあげ得るかは甚だ疑はしいとせざるを得ないむしろ現狀に即して見れば、英佛以外の國々がこの提案に直ちに贊同するか否かすら疑問であるとなすべきであらう。

三

歐洲大戰後、まさに二十年を經た。この二十年の間の世界情勢の推移を回顧し、そしていま歐洲に於いて最高度に達してゐる不安を中心として檢討すれば、ひとり歐洲のみでなく世界の全面にわたつて今こそひとつの巨大な轉換を要請される段階に立ち至つてゐることが結論されざるを得ない、しかしその轉換に、企圖されてゐるやうな外交參謀本部式のものがいくばくの寄與をなし得るものとも考へられない。依然としてそこでは歐洲諸國舊來の使ひ古されしかも實效すくない外交的方策の使ひわけが見られるだけであらうからである。

ソ聯の實情と日ソ關係の將來(下)
目標を日本及びドイツへ

話は前後するが、政府のいはゆるソヴイエト・イデオロギーの施政方針のコツはどこにあるか、否何處に置いてあるか、彼等は「人間の本能や欲するところを察知しこれを滿足せしむるやうな手を打つことが政治の要諦だ」と考へてゐる、憲法改正もその一つだがゲ・ペ・ウの制度をやめたところにもこの氣持の現れがあると思ふ

ゲ・ペ・ウといふのは一種の軍隊にも似た秘密警察で、ソヴイエト政權の基礎が未だ固まらぬ時反政府運動を恐れて出來上つたのがその始めである、いまはこの制度は無くなつたが、組織はある、こんな次第で設けられたゲ・ペ・ウの力は大したもので、時の經るに從つて段々横暴となり獨斷的職權濫用行動は目に餘つて來た、勝手に島流しはやる、銃殺はやるで國民の怨嗟の的となつて來たので最近かゝる專斷は司法權の獨立に反するものと、この制度を廢止して國民の要望を叶へてやつたこんな意味の警察力は今十五萬人である

×

ソヴイエト政權は果して强いか弱いかこれに對して色々の見解もある、その理由として人々が利用するのに例のジノヴイエフ一派の反スターリン、反幹部派の死刑事件がある、しかしこの反幹部派に對するクーデターの結果スターリン政權は却つて一黨專制を强化したのではないか、少くもソヴイエト社會主義國家の基礎確立と圓滿なる發展は世界革命、赤化によるの外なしとなすトロツキー等の强硬な主義は議論として成立するか、國際團體の一員としてこの奇矯な言動は新しい國家であるソ聯邦がとり得る性質のものでないことをスターリン氏は考へてをり、しかもこれが共產黨員の大方の諒解と支持を受けてゐる、ス氏の達見とこの實際主義がクーデターによつて更に國民に徹底し勝利を占めたのではあるまいか

×

かゝる次第で現在イデオロギーの對立はないやうだ、スターリンの地步は嚴然たるものだが、ス氏に何か豫期せざる事件が起つたとして、次のソ聯邦の獨裁者は誰かといふことも興味がある、一般の人氣實力からいへば陸海軍を一手に握つてゐるウオロシロフ元帥の呼聲が高い

スターリン政權問題に關聯するが、ソ聯邦の中心力たる共產黨員は今や三百萬人からあるやうだが、ジノヴイエフ事件もあり、黨自身としてもこれまでのやうな雜多な異分子を排擊して精鋭な質の黨員をもつて量にかへんとしてゐる、猛烈な清黨運動をやつて七十萬人も減じたといはれるそして新たに黨員となるには標準を設け、眞にソ聯邦建設の前衛分子になり得るか否かを嚴重に審査することになつてゐる、まづはじめは共產黨員候補者として教育され、つぎに正式黨員となるといふ次第で、これ等第二線の數は何百萬と稱されてゐる

×

ソヴイエトの對外方針はどうか、簡單にいへば平和主義政策のもとに反ファシズム戰線の强化といふ點にある、これはスペイン內亂に關する態度によつて明瞭にわかると思ふ、ところで對日觀であるが彼等の言ひ分をその儘とすればソ聯邦は日本とは戰爭を避けたい、平和でやつて行きたいと、不侵略で行きたい、東支鐵道を賣つたのもこの方針から割り出された結果にほかならない、しかし國境事件は起すし、戰爭したいのか平和を欲するのかわからんといつてゐる、我方からみれば全く反對で、彼等の言ひ分と行動には首肯し難いものがある兩國の冷靜な判斷と親善空氣の釀成が好ましい、ソ聯の外交はスペイン內亂を機に相當列國をしてコン・ミンターンの活動のために脅威を感ぜしめ、國際間の友人を減じつゝあるのではないか、日獨防共協定に對しても大分刺戟されてゐるやうだ、日ソ關係の將來はなかなか重要で遽かに云々出來ないものがある

爲替管理强化に關し包括的許可制を採用
輸入業者から强硬に要望さる

【東京國通】今回の爲替管理法强化に伴ひ輸入貨物代金決濟および外國爲替銀行の海外指圖による

支拂 は一部の例外を除き大藏省の許可事項となつたゝめに、貿易業者は商談取極めに商機を逸し易く、また爲替銀行は海外における取引に重大なる支障を蒙ることになるので爲替銀行および輸入業者はこの際かゝる取引上の障碍を最少限度に止めるために取引高に關し包括的許可制の採用方を要望してゐる、すなはち輸入業者および爲替銀行の取引高を參酌して一定期間一定額までの取引に對して豫め包括的に許可を與へることにすれば、それでも從來に比し取引が或る程度窮屈となることは免れないとしても許可制の採用によつてあたら商機を逸すること を防ぐことができる、延いては輸入貨物の買付原價を低廉ならしめ本邦商品の國際商戰における

地位 を有利に導くことゝなるのであるから許可制度は已むを得ないとするも、包括的許可制度を認むべきだとしてゐる

懸賞設計圖案
二月初め發表
應募實に二百八十

舊臘廿五日を以て締切つた滿洲國政府懸賞募集の訪日宣詔記念建造物建築設計圖案の應募狀況は一等賞金三千圓、二等二千圓が興味を呼び未來の大建築設計監督者を夢見る若き學徒の應募も可成あり二百八十の多數に達してゐるが、本月末審査委員會を開いて二月初め當選者を發表する豫定である

新京貿易組合
十六日設立委員會
日滿貿易の促進期待さる

國都滿商の利便を圖るとともに日滿貿易の促進を企圖して設立を急いでゐる新京貿易組合は舊臘準備委員會を開き設立要項その他に就き忌憚なき意見の交換を遂げたが、その後市公署、附屬地輸入組合、商會等の肝煎りで愈よ本月十六日午後二時より商會に於て第一回設立委員會を開催することゝなつた、而して第一回委員會に於ては組合規約、創立總會の日取りを決定する筈である

爲替管理法改正省令
補足的說明公表

【東京國通】八日施行した爲替許可制度について業界方面から種々本令施行に關する質問があるに鑑み九日これ等の質疑に答へて左の如く本令實施に關する細目について補足的の說明を公表した

一、本令施行前本邦への貨物輸送のため送金爲替の買入れをなす場合は爲替買入れのため外貨を對價とする圓賣りの豫約、實行の兩許可を要す

一、本邦への輸入貨物代金決濟のため取組まれたる爲替手形の決濟をなすため本令施行前締結したる爲替豫約の實行をなす場合は豫約實行についてのみ許可を要す

一、本法施行の際輸入濟の貨物代金の送金については許可を要す

一、本邦への貨物の輸入につき生じたるクレームその他の受取るべき金額を輸入貨物代金決濟に充當せんとする時は許可を要せず

一、第二號書式の報告書に記載すべき貨物の價額は輸入申告價額を記すること

一、本令は爲替取引の個々に對して適用すべきものであるが一定期間に限り抱括的に適用すること

一、施行前の爲替豫約の實行買付、契約、實行濟みの貨物に對しては寬大なる取扱をなす

一、本令施行に愼重を期するため外國爲替管理委員會、羊毛輸入統制委員會の決議を採用する

一、當分の內は大藏、商工、日銀の間に專門家を集め適宜協議を行ひ本令施行の細目を議せしめる

パ大佐の近著
「大和魂」
ルーマニヤで發刊

【東京國通】日本武士道研究家として知られた駐日ルーマニヤ公使館附武官ジヨルジユパグレスコ大佐は一昨年二月あこがれの日本に着任以來わが武士道精神に傾倒し特に赤穗四十七士の物語りに感激してルーマニヤ語に飜譯を企圖し、二年がゝりで廣汎な資料を蒐め歷史小說「スフレットジヤパニーズ＝日本名、大和魂」の執筆に沒頭してゐたが正月八日ついに上卷三百九十頁の大冊を脫稿、謄寫および挿繪數十枚の選定を完了したので直ちに本國に急送し首都ブカレスト市の書肆から出版することになつた、なほ下卷三百餘頁の材料も全部整理されてゐるので本年中に脫稿の豫定である、完成の喜びにひたるパグレスコ大佐は麻布の官舍で語る

國境の外から日本を本當に理解するには日本精神を知ることが第一です、この精神を理解するには現在の社會的現象等を知るよりも日本の歷史の流れから日本精神を汲みとることが一番早途です、私は子供の頃簡單な繪物語で赤穗義士談を讀んで興味を持つてゐましたが、日本に着任するや直ちに研究執筆に着手した、私は史實を中心に私の歷史的空想を離合せしめて日本精神を書いたつもりです

滿洲國新刑法(三)

第七章 競合犯

第四十七條 確定裁判を經ざる數罪を競合犯とす或罪に付確定裁判ありたるときは止だ其の罪と其の裁判確定前に犯したる罪とを競合犯とす

第四十八條 競合犯中の一罪に付死刑を科するときは他の刑を科せず但し從刑は此の限に在らず無期徒刑を科するときは無期禁錮を科せず無期の徒刑又は禁錮を科するときは他の刑を科せず但し罰金、科料及從刑は此の限に在らず

第四十九條 競合犯中有期の徒刑又は禁錮に處すべき數箇の罪あるときは其の最重き刑の長期に其の半數を加へたるものを長期とし各刑の短期の最長きものを短期とす但し其の長期は各刑の長期を合算したるもの及二十年を超えることを得ず

第五十條 罰金、拘留又は科料と他の刑とは之を併科す但し第四十八條の場合は此の限に在らず數箇の罰金、拘留、科料又は從刑は之を併科す罰金を併科又は罰金と科料とを併科したるときと雖も勞役場留置の期間は三年を超ゆることを得ず科料を併科したるときは七十日を超ゆることを得ず

第五十一條 競合犯中既に裁判を經たる罪と未だ裁判を經ざる罪とあるときは更に裁判を經ざる罪に付處斷す

第五十二條 競合犯に付數箇の裁判ありたるときは左の例に依て其の刑を執行す

一、死刑を執行すべきときは從刑以外の刑を執行せず

二、無期徒刑を執行すべきときは無期禁錮を執行せず

三、無期の徒刑又は禁錮を執行すべきときは罰金、科料及從刑以外の刑を執行せず

四、有期の徒刑又は併せて之を執行す但し其の執行は最重き罪に付定めたる刑の長期に其の半數を加へたるもの及二十年を超ゆることを得ず

五、勞役場留置は第五十條第三項の期間を超ゆることを得ず

六、前各號の場合を除くの外競合犯の刑は併せて之を執行す

第五十三條 競合犯に付處斷せられたる者或罪に付恩赦を受けたるときは恩赦を受けざる罪に付更に刑を定む此の場合に於ては既に執行したる刑の日數は之を通算す

第五十四條 一箇の行爲にして數箇の罪名に觸るゝもの又は犯罪の手段若は結果たる行爲にして他の罪名に觸るゝものは本章の例に依る連續したる數箇の行爲にして同一の罪名に觸るゝものと雖も數箇の法益を侵害したるとき亦前項に同じ

第八章 刑の適用

第五十五條 刑の適用に付ては犯罪の目的、動機、手段結果、犯人と被害者との關係、犯人の年齡、性行、智能、境遇、經歷及其の犯罪後の情況を斟酌すべし

第五十六條 同一の罪に付徒刑及禁錮の定ある場合は所犯道義上又は公益上の動機に出で宥恕すべきものなるときに限り禁固を科す徒刑のみに該る罪に付所犯道義上又は公益上の動機に出で特に宥恕すべきものなるきは禁固を科することを得此の場合に於て其の期間は徒刑の期間に同じ

第五十七條 罪を犯し官に發覺する前自首したるときは其の刑を減輕することを得親告罪又は被害者の明示したる意思に反して論ずることを得ざる罪に付告訴權者に首服したるとき亦前項に同じ

第五十八條 犯罪の情狀憫諒すべきものは酌量して其の刑を減輕することを得

第五十九條 法律上刑を減輕すべき數箇の事由競合するときと雖も減輕は一次に限る法律上の減輕を爲したるときと雖も仍酌量減輕を爲すことを得

第六十條 刑の減輕を爲すべき場合に於て各本條に二箇以上の刑名あるときは先づ適用すべき刑を定め其の刑を減輕す

第六十一條 刑の減輕は左の例に依る

一、死刑を減輕すべきときは無期又は十年以上二十年以下の徒刑若は禁錮とす

二、無期の徒刑又は禁錮を減輕すべきときは七年以上二十年以下の有期の徒刑又は禁錮とす

三、有期の徒刑又は禁錮を減輕すべきときは其の刑期の二分の一を減ず

四、罰金を減輕すべきときは其の金額の二分の一を減ず

五、拘留を減輕すべきときは其の長期の二分の一を減ず

六、科料を減輕すべきときは其の多額の二分の一を減ず

第六十二條 刑を加重減輕すべき事由競合するときは左の順序に依る

一、累犯加重

二、法律上の減輕

三、競合犯加重

四、酌量減輕

第六十三條 裁判確定前の拘留日數は其の全部又は一部を有期の徒刑若は禁錮罰金拘留又は科料に算入することを得

前項の算入に付ては拘留日數一日を刑期の一日又は金額の五角以上五圓以下に折算す

第九章 刑ノ執行猶豫

第六十四條 左の一に該る者に對し三年以下の徒刑又は禁錮を科する場合に於ては情狀に因り裁判確定の日より一年以上五年以下の期間其の刑の執行を猶豫することを得

一 前に故意犯に因り禁錮以上の刑に處せられたることなき者

二 前に故意犯に因り禁錮以上の刑に處せられたることあるも其の執行を終り又は其の執行の免除を得たる後犯罪の時迄に五年以上を經過したる者

五百圓以下の罰金を科する場合に於ては情狀に因り裁判確定の日より六月以上三年以下の期間其の刑の執行を猶豫することを得但し其の犯罪前三年以內に罰金以上の刑に處せられたることある者に付ては此の限に在らず

第六十五條 刑を併科する場合に於ては其の一のみに付亦刑の執行を猶豫するふとを得

第六十六條 故意犯に因り猶豫期間內に禁錮以上の刑に處せられたるときは徒刑又は禁錮の執行猶豫の宣告は其の效力を失ふ故意犯に因り猶豫期間內に罰金以上の刑に處せられたるときは罰金の執行猶豫の宣告は其の效力を失ふ猶豫期間內刑の執行を猶豫すべからざるものなること發覺したるときは執行猶豫の宣告を取消すべし

第六十七條 執行猶豫の宣告其の效力を失ふことなく又は取消さるることなくして猶豫期間を經過したるときは刑の宣告は將來に向て其の效力を失ふ

市立病院招宴

新京市立病院では地元新聞記者を九日午後六時より千島に招じ、新年宴會を兼ねて懇親會を催したが、病院側より山口院長、永山博士(眼科醫長)岩田博士(耳鼻咽喉科醫長)末吉博士(產婦人科醫長)村山泌尿器科長、桑名事務長、市公署側より植田、宇山各處長等出席、主客歡を盡して同十時散會した

加藤鮮銀總裁設宴

鮮銀總裁加藤敬三郞氏は八日午後六時半からヤマトホテルへ日滿各界の代表ならびに鮮銀取引先の人々等二百數十名を招待晚餐會を催したがデザートコースに入り加藤總裁の滿洲に於ける關東州を除く各地から鮮銀撤退挨拶があり來賓を代表して張國務總理鮮銀の功績をたゝへ謝辭を述べ寬談一時間餘で撤宴したが盛宴であつた

放送局新年宴

新京放送局では十日午後七時から南海に地元新聞記者を招待、主催者側長谷川局長、山田營業課長、加納營業主任出席して新年懇親宴を張つた

料亭總會新年宴

大新京料亭組合は十一日午後六時から三笠町の料亭會我廼家で新京宴會を催す

高山主事
戶外週間のビラ撒布

滿鐵地方課、關東州廳主催の『戶外週間』は十四日から全滿各都市一齊にそれ〳〵行事を行ふことゝなつたが一般にこの戶外週間運動を徹底させるため新京事務局高山社會主事は十七日周水子飛行場から飛行機に搭乘全滿主要都市の上空から數十萬枚の宣傳ビラを撒布することゝなつた

西廣場燒却祭

西廣場小學校の燒却祭は十一日午後零時半晝食休み時間に、各兒童が持參したお正月の飾物を校庭に積み全部燒き捨てられた

商況欄
(一月十一日後場)

●上海標金 前引 二二四三五

●上海爲替

日本向	第一回賣買	一〇〇四二〇 / 一〇〇四二五
倫敦向	第一回賣買	一志二片一三二分二 / 一志二片一六分九
紐育向	第一回賣買	二九弗一四分三 / 二九弗一六分三

株式相場

▲大連株式(短期)

銘柄	寄	引
五品	一六〇〇	—
豆新	三一一〇	—
鈔新	—	—
錢新	一三五〇〇	—
東鐵	六〇四〇	—
滿新	四八六〇	—
二產	八〇一〇	—
日新	三三三〇	—
鐘新	[illegible]	—
土木	一一四〇	—

▲奉天株式(短期)

銘柄	寄	引
新日產	三一一〇	—
滿取	一三〇〇	—
東新	一四四〇	—
大新	八〇〇〇	—
日產	八一四〇	—
鐘新	一三三〇	—
五品	一六一〇	—
豆新	三一三〇	—
同新	四八六〇	—
電拓	三四三〇	—
東興	三三〇〇	—
滿毛	[illegible]	—
優先	—	—
日畜	六〇六〇	—

手形交換高(十日)

一六八枚 一三三、五三三、三六

新京取引市況

現物(一月十一日後場)(一石値段)

品名	寄	引	出來高
大豆	—	—	—
高粱	—	—	—
吉豆	—	—	—
小豆	—	—	—
玉蜀黍	—	—	—

定期(混合百斤値段)

品名	寄	引	出來高
先物	[illegible]	—	—
大豆 一月限	六、六四	六、六四	九四車
大豆 二月限	六、七〇	—	一車
高粱 一月限	[illegible]	—	—
高粱 二月限	四、三一	四、三六	五車

鮮魚小賣相場

(十一日)百匁に付

品名	最高	最低
活鯛	九〇	六六
氷鯛	六〇	三六
小鯛	四〇	三〇
連子鯛	[illegible]	[illegible]
チヌ鯛	二〇	一六
アマ鯛	二〇	一二
イセエビ	二〇	[illegible]
車エビ	一〇	[illegible]
ブリ	二〇	[illegible]
ヒラメ	[illegible]	[illegible]
マナガツオ	四〇	三三
鮭	[illegible]	[illegible]
スズキ	[illegible]	[illegible]
サヘラ	四四	[illegible]
ニシン	[illegible]	[illegible]
サバ	[illegible]	[illegible]
アラ	一三	一二
メバル	一八	一六
ヒラメ	二〇	一九
コチ	七	九
コノシロ	[illegible]	[illegible]
ホーボー	[illegible]	[illegible]
キス	二三	一三
タコ	二三	二二
水蛸	[illegible]	[illegible]
飯蛸	[illegible]	[illegible]
カニ	一〇	[illegible]
甲イカ	一〇	七
サヨリ	一六	一四
アナゴ	二〇	一〇
アワビ	一二	八
シジミ	四〇	一二
ハマグリ	四	二
ブリ	九〇	七七

汚染部落視察記

東邊道の發疹チブスと集團部落に就て（下）

波多生

次に現在流行病の狀況について記さう

一、流行狀況

（イ）時期、昨年七月下旬縣下一齊に集團部落形成が開始せられ、それと同時に霖雨續き家屋の不完備、過勞、榮養障害等の不健康者續出に乘じ、昨年一昨年地方病性に流行せる發疹性疹患ますます猖獗を極むるにいたる、九月下旬より十月にかけて最も猛威を振ひ死亡者續出、本月中旬に到るも終熄せず

（ロ）症狀、本病は小兒に少く大人に多い、頭痛、全身倦怠、惡寒、發熱をもつて始まり、咳嗽惡心を伴ひ大便々祕に傾き發熱上昇すれば囈語を發し（腦症狀）重篤なるは十日餘にして鬼籍に入る、輕症なるは發病數日にして全身殊に胸部、軀幹に紅斑斷の發疹を生じ半月餘乃至二旬にして快癒す

（ハ）傳染經路本症は地方病性に本域一帶に流行せるもの〻如く、しかして雨期より初冬へかけて年々流行せる事實あり、家族傳染の跡、歴然、また交通頻繁なる村落間の自然蔓延また否定し難し、かつ吸血昆蟲、（殊に虱、蚤、南京蟲）が病原媒介をなすこともまた否定しがたい

（ニ）診斷、以上詳述せる如く、また發病後五日の十八歳の男子を診察せるを綜合して、發疹性、急性、熱性傳染病殊に發疹チブスに最も近似せるは論を俟たず、されど諸種試驗材料手許になく、また諸種診斷試驗出來ざるをもつて今後の診斷試驗の成績を俟つて確定的診斷を得べし

二、流行地域　罹病死亡者數

縣名	部落數	罹病者數	死亡者數
通化縣	三三	一一三三	一三三
桓仁縣	一	四六	一
柳河縣	三	一三九	一
金川縣	三	八六七	五四
輯安縣	三	四〇一	不詳
合計	四三	二九〇四	二二六

△備考　一、興京縣、臨江縣は調査未完了なるも罹患、死亡者相當數ある見込

二、右表の死亡者は警察官の診定せるものなるをもつて遽に信を置き難く、かつ普通病、老病死亡者をも包含せる數字なりと思惟せられ、よつて本症による正確なる死亡率は未だ充分算定する能はず

三、防疫措置

通化縣公署、治安工作委員會にて充分連絡協議の上、滿軍々醫關係十一ヶ班（但施療を加味す）縣公署四ヶ班の應急防疫班を急派し、防疫工作をなさしむ

防疫措置について（省略）

（イ）汚染部落の規則的隔離遮斷

（ロ）驅蟲濟による室內衣類蒲團類の吸血昆蟲の驅除、（熱氣、消毒併用）

（ハ）清潔檢査の勵行、衞生思想の啓發（布告文およびビラ配布、屯村長の訓練）

（ニ）罹病者の隔離、消毒對症療藥の投與

（ホ）檢病的戸口調査の實施

（附記）天然痘患者、通化縣（六名）輯安縣（八名）桓仁縣（人數不詳）に發生せりとの情報あれど詳細は不明

酒井侍從武官 在圖們部隊を慰問

【圖們國通】駐滿皇軍、警備機關を御慰問のため御差遣あらせられた侍從武官酒井康大佐は東部國境方面から飛行機にて九日午後一時半圖們に來着せられ、直ちに秦泉寺部隊を慰問の上二時五分再び飛行機により延吉に向はれた

新交通公司に 黄バス合流、調印了す

紀元節をトし兩會社を接收

【奉天國通】一都市一交通會社の滿洲國交通國策に順應し豫て奉天市公署では大連都市交通株式會社と協力、同社との折半出資により資本金二百五十萬圓の奉天交通股份有限公司を設立して奉天市內の交通機關を統制すべく、奉天電車株式會社および滿洲自動車運輸株式會社に合流方を交渉中であつたが、兩者ともこの國策的主旨に贊同過去における苦心經營の歴史を一擲、欣然これに合流することゝなり黄バスの讓渡價格も百十三萬圓で交渉成立し、十日午後五時ヤマトホテルにおいて三浦特務機關長、交通部北堀理事官立會の下に王奉天市長、山岡大連交通專務、岩崎黄バス專務の間に合併に伴ふ事務引繼覺書の調印を了した、かくて新交通公司は二月十一日紀元節の佳日をトして兩會社を接收交通國策に邁進することになつた

フイギュアー講習

滿鐵初等教育會第四區スケート擔任訓導のフイギュアー講習會は十一日午前十一時から西廣場小學校リンクで打越講師の實演、説明あつて各自練習が始められ、午後四時一旦終了した、參加者は各校正員一名づゝの外有志二十餘名あつた、なほ新京の講習は十二日まで〻十三日は奉天で開かれる

外人經營の金銀鑛 大楡洞鑛山

日本鑛業會社が買收

【京城支局】半島唯一の金銀鑛として有名な平北道大楡洞鑛山は現在英米佛三國外人經營であるが同鑛山の有望性に豫て食指を動かしてゐた日本鑛業會社では昨年六月頃から同鑛山の買收を計畫し寄々折衝を進めてゐた處最近兩者間の交渉は急角度に進捗して漸く買收纏り本月末乃至月中旬頃迄には買收完成するものと見られ買收價格は一千萬圓である

皇軍の威容燦！

八日龍山練兵場で 朝鮮軍觀兵式

軍國の春…輝かし

【京城支局】重大時局軍國の新春を彩る陸軍始め觀兵式は八日午前十一時から龍山練兵場で嚴肅盛大に擧行された、この日折柄の嚴寒を衝いて第二十師團步、騎、砲工各部隊は當日午前十時迄に練兵場東側に集合終れば小磯軍司令官は川岸第二十師團長の先導で幕僚を從へて諸兵を閲兵次いで午前十一時小磯軍司令官が閲兵官となり川岸師團長が諸兵指揮官となつて勇壯な分列式が行はれ正午終了したが當日は南總督、大野政務總監を始め總督府各局課長府內官公署長學生各種團體等參觀し空前の盛觀を呈した

朝鮮水産業 漁獲高、輸出量逐增す

（京城支局）朝鮮沿岸に於ける水産事業は近年優良漁船の增加と漁船及び漁具類の機械化に伴ひ漁獲高並に輸出量も增加の一路を辿つてゐる

即ち總督府の調査に依る昭和十一年一月以降十月末迄約十ヶ月間の朝鮮産水産物の輸出した數量は鮮魚の五百萬八千六百五十斤、七十二萬二千四百五十九圓を筆頭に乾魚百二十二萬八千二百八十二斤、三十四萬六千二百七十二圓鹽魚の七百十九萬四百三十三斤、四十九萬三千六百三十五圓其他明太魚、乾貝、海苔、鯨油等三百三十萬七千九十二圓で前年同期の三百十一萬五千七百四十圓に比し約二十萬圓の増加を示してゐる

京城放送局の 鮮語放送電力を增大

【京城支局】朝鮮放送協會に於ては聽取施設の簡易化を圖る一面中華民國及蘇聯邦等に於ける大電力宣傳放送の實情に鑑み電波防衞の見地上豫てより京城中央放送局の朝鮮語放送の電力を「キロワツト」に增大する計畫を樹て之が許可申請中であつたが一月六日附を以て許可せられたので同協會では直ちに工事に着手し一月中には其の工事一切を竣工せしむる見込である

紅毛柔道家 講道館寒稽古に參加

【東京國通】講道館寒稽古中の紅毛一點、去る八日横濱入港〻郵船秩父丸で休暇を利用しはるばる上海から講道館の寒稽古に馳せ付けたといふ熱心な紅毛柔道家、上海工部局刑事英人エヌ・アール・リンガード君（三一）が十日から早速稽古を始めた、午前四時半道場に山王ホテルの自動車を乘り付けた同君手早く眞新らしい柔道着で身仕度をするといきなり居合せた德三寶七段に挑戰した心臟の強い同君頻りに得意の跳腰をかけやうと焦るが相手は德七段逆に五尺九寸二十四貫の巨體をバタリと右に左に輕く投げつけて終ふ、紅毛初段口惜さうに齒を喰縛つて今度は佐藤七段を相手にさんざん投げられ寒稽古を終つた、リ君は語る

上海でも柔術は盛んで、私はいつも日本領事館警察の道場などで稽古してゐますが、この講道館の寒稽古の味は何ともいへませんね、來年までにはウント強くなつてくるつもりです

強制勉強がお役に立つ

＝中銀行員の語學＝

中央銀行では『行務の完全なる遂行は日滿兩語の修得にある』との見地から大同元年山成副總裁名を以て『四十五歳以下の行員は二ヶ年內に所定の滿語を修學すべし、然らざるときは身分上に考慮を拂ふ』旨通告を發し、全滿如何なる僻地に於ても日滿兩國人に不便を與へざることを企圖したが一時は行內に怨嗟の聲さへ生じた日滿兩語の普及計畫は五ヶ年を經過した今日では完全に實を結び、全滿八百餘名の日人行員中約半數は三等試驗に合格、滿人行員の四等試驗に合格、全滿主要支行に駐在滿人行員間に互して活動する日人行員の全部は滿語を解して完全に行務を處理してゐる狀況である、この好成績に鑑み中銀では更に一段の拍車をかけて本年中には全滿百三十六支行の何れに於ても日滿兩語を以て用務を達し得る樣講習會を增加すべく計畫してゐる

朝鮮十一月分 煙草賣渡高

【京城支局】專賣局十二月分製造煙草賣渡高總額は四百四十二萬八千九十四圓で前年同期に比し六分一厘の減である之を各地方局別に示せば京城一百七十五萬四千五百七圓、全州九十四萬七千四百六十四圓、大邱八十七萬九千六百六圓、平壤八十四萬六千五百十七圓である、尚本年四月より十二月までの合計は三千四百九十一萬七千四百三十四圓となつてゐる

ハルビンのスケート豫選

【哈爾濱國通】全滿スケート選手權覇者豫選大會は十日午前十一時より道裡スタヂオにて擧行されたが、競技場の狹少と惡コンデーションで好記錄を出し得なかつた、成績左の通り

△男子五百米 1ブベロフ（四九秒五）2ガヴリウイッチ（五一秒）3富田（五三秒一）

△男子千五百米 1ガヴリウイッチ（二分五二秒二）2ゾンダグ（二分五四秒九）3ブロペフ（二分五九秒）

△男子一萬米 1ブロペフ（二三分六秒六）2ガヴリウイッチ（二三分秒三）3富田（二三分九秒六）

△女子五百米 1王（一分八秒五）2ホノマレンコ（一分一一秒）

延吉民會長 財滿氏に決定

【延吉支局發】收前內地人民會長鶴出に伴ふ後任民會長の選擧は本月四日午後四時より當地民會々議室に於て武藤延吉分館長臨席の下に民會議員十名出席の上開會、勝頭淵上副民會長より現議員電報電話局長財滿精三氏を適任として推薦、滿場異議なく贊成同氏と決定、午後五時閉會引續き收前民會長の送別宴を開催一同和氣靄々裡に午後七時半散會した

家庭

男女は戀愛に―結婚をどう處理するか
青春花園にはびこる虚花(あだばな)

戀愛は花でありまして、結婚は實でございます。實をもたない花は所謂虚花であつて惡の華ともいふべく、何の益にもならないのみならず、或は却つて害をするものもあるのです。

人間と近い生物の生活を考へますと、彼等の間にも戀愛ともいふべき生殖的のもの、即ち性慾があります。それは一定の時期をもつて居ります。そして又その

性慾には目的があります

す。即ち種族を遺さう。種族を孵化させようといふ目的をもつて、原始的の變愛、つまり生殖作用を行ふのでございますからこれは道德的といつてもよいでせう。人間社會に於ける變愛といふものもその根本に遡つて見れば、この性本能から出發して居り、ただそれが純化され、美化され若しくはカムフラージュされてゐるのですが、厄介なことにそれには時期がございませぬ。何時でもそれが發露されてます。それから又道德的目的なしに行ふ場合も多いのであります。

男女を通じて十五、六の年頃になりますと、「娘十六戀ごころ」と申しまして、性に對する憧れをもつて來るといはれます。こういふ風に性の目覺めが早く參りますのに、現在の社會情勢では、非常に結婚の時期が遲くなつて來て居ります、今の男子は二十七八から三十前後が結婚期でありまして、婦人も二十から二十三四といふことになつて居ります。その期間に

非常に開きがあります

ため、若い人達の本能が不自然に抑制され、生活に矛盾が生じ易いのであります。男子とて、往時のやうに、遊蕩を當り前のやうに思つてはゐませんが、それでも男の獨身生活には已むを得ないことだといふ風に自分の醜行を正當化して考へ、カフヱーその他の遊里の巷に出入する者が多いのであります。その結果として性病に罹り、子孫に害を遺したり、情婦との關係が切れないで正しい結婚をするときに色々な障碍を來すことが澤山ございます、婦人に就いては、性の慾求も消極的で自ら進んで過失を犯す者は尠うございますが。それが形を變へて現れます學校では女友達の間に

同性愛に溺れるとか、

先生に憧れるとか、ただ心で憧れるだけならばそれは差支へもありませんが、そのため神經衰弱になつたり、厭世的になつたりすることもあります。また能動的な男子の誘惑に遇ひました時に忽ち盲になり、もろくも自分の貞操を奪はれて了ひ、身體の異常を覺えた時はもう男に棄てられたといふ女が澤山あり、新聞の婦人相談に出ます惱みの中でもさういふ例が存外多いのに驚かされます。

◇ ◇

斯く申したとて、私は戀愛否定論者ではありません。人には戀愛といふ樣な衝動があるのですから、それを正しく活用させねばならないのであります。戀愛には

道德感と聰明さとが伴はなければならないのです。

道德感と聰明さとを養ふにはどうしたらよいでせうか。貞操は女子だけのものではありません。親は男の子にも女の子にも同樣に、性に關する道德教育を施さねばなりません異性に近づいては危險であるから會はせない、交際させないといふ親が澤山ありますがそれでは却つて危險です。若いうちから何でもないやうにして交際させ、異性を見る眼を開かせる。そして異性に近づいても盲目的にならずに、相手を正しく觀察するやうにしたい。

親たるものは、出來るだけ交際を廣くして娘又は息子のために

相應しいと思はれる相

手を數人選び、自由につきあはせるのが望ましきことです子女自ら見つけて來た異性の友達でも無暗に排斥しないでよく觀てやらねばなりませんさうしてゐる間に子女が戀愛を感じて來たなら、一緒になつて研究する必要がありますが然し余り主觀的にもならず、子女の氣分を尊重し、そして責任をもたすのです。その代り子女は戀愛した以上、それに責任をもち、どうしてもそれを完成させる意志を以て、結婚せねばなりません。

◇ ◇

それから結婚前にお互ひに戸籍謄本と健康證明書を交換し、健康診斷は必ずやらなければなりません。丈夫さうに見えた娘さん達が結婚して間もなく胸の病氣が出るといふことが隨分あります、一番恐いのは男の病氣であります。男の人には割合に自覺しないで罹つても何時か癒つてしまふといふ、そんな風の性病が結婚して新婦の體に傳染され、不姙症になつたり又は不治の病の罹つて非常な苦しみを致します。

健康診斷を要求すると

いふことは、家庭を作る人達の當然の義務のやうに考へなければならないのです。式や披露のことに就きましては私が申すまでもなく生活改善の會などでもやつて居られるやうですが、一生に一度のことでございますから花を飾りたいのは無理はないでせうが、高價な衣裳や贅澤な御馳走はなくとも、ただ嚴肅な氣持で將來を誓へばよいので現在のやうな經濟狀態の逼迫した世の中では、出來るだけ冗費を除き合理的な結婚をしたいものだと思ひます。

丑太郎物語

蜂須加太郎作 石井什二画

(中)

お父さまは、いひました。

『ぜつたいつちやいけないよ』

『……………』

『これは、私のたゞ一人の大事な子供だ。ころされてたまるものか。――』

牛はいひました。

『だつて、お父ちやん、それほどに思つて大事にそだて上げたものを、あの丑太郎さんは、ありがたいとも思はないで、毎日ねてばかりゐて、手つだいなど、すこしもしないぢやありませんか――』

これをきいて、お父さまは、すこし惡しくなつてまいりました。

『うむ、まつたく、あれには、困つてゐるのさ。――』

さう、お父さまがいひますと、牛は、こゝぞとばかり、

『さういふ子供なんか、大きくなつても、ろくな人間になりはしないから、お國のためにころしておしまひなさい。』

と、すゝめました。

『……………』

お父さまは、だまつてきいて居られましたが、(なるほど)と思ひました。

牛は、つゞけて、お父さまに、いひました。

『そのかはり、あんな丑太郎よりも、もつと〱、はたらく、かあいゝ子供を、神樣からもらつて來て上ますぜ。』

そこで、お父さまも、いまは、すつかり、その話にのつてしまつて、

『さうかい、ほんとうに?…』

と、きゝました。

『うそぢやありません。大丈夫ですよ。』

そこで、とうたう、お父さまは

『ぢや、いゝやうにしておくれ。――』

と、いひました。

『よろしい。』

『私も手つだふことにしようか?……』

と、まで、お父さまはいひました。

『なあに、私一人でいゝよ。』

このさうだんを、丑太郎がきいてゐるところへ、牛がとんでまいりました。

(さあ、たいへんだ!――)

と、思つて、丑太郎は、にげようといたしました。が、その時には、牛がもうつのにひつかけてゐました。

『やあ、たいへんだ。助けておくれ。――』

と、大きなこゑを上て、丑太郎は、なき出しました。

『お父さん、助けてえ。……』

と、大きなこゑを出しましたが、お父さまは、にや〱笑つてゐるばかりで、助けてくれやうとはしませんでした。

『お母さんお母さん。……』

と大きなこゑを出しましたところお母さまは出て來ましたがやはり知らぬかほをして居られました。

一年の計はダットサンから

昨年の暮頃から私はダットサンの運轉の稽古を始めて居りますが、これは內々、此昭和十二年の正月

元旦から

牛歲の牛の歩みとは反對に颯爽と都大路を、自分でダットサンを操縱して、神詣でに年賀に、乘り廻そうといふ野心があつたからです、併し練習所から街路へ出る事を許されたばかりの私には、まだ都の心臟部へ乘り入れるだけの心臟の强さを持ち合せなかつたので、唯僅かに郊外の知人の處へ年賀に廻つたに過ぎませんでした、これが新年早々に私が感じた一大恨事なのです、結局其方が人助けでもあり、君にとつても仕合せだつたなんて冷笑て戲き度くはありません、これでも私は大眞面目にこれを計畫いたした積りなんですから。

一年の計は元旦にありとか申します、新年を迎へるに當つて私が先づ

心に念じ

た事は、今年はさらに〱全力を盡して、元氣よく働いてゆこう。人生の荒波に押し流される事なく、威勢よくこれを乘り切らう。目的の彼岸に達する爲には、あらゆる困難、あらゆる障害を踏み越え驀地に突進して行かう。これが初日の出を拜みながら私の念願でありました。私が自分でダットサンを操縱して右に左に人を避け、車を避け或ひは疾走し、或ひは速度を落し、或ひは停止する、此操作を無事に終へ、目的地點に達した喜びと滿足は丁度私が

人生行路

を辿る途上の、此新年の初頭に樹てた念願の成就した時の喜びの縮圖ではありますまいか、さうして又ダットサンを操縱する時の心得として、先づ最初に呉々も注意された事は直ちに私の生活に對する教訓の言葉として、大いに味ひのあるものでもあるのです。操縱者の先づ第一に心得置くべき事は操縱に際して放膽にして細心、果斷にして周到たるべしと先輩は教えて呉れました。私達の舞臺の演技にいたしましても、大膽に果斷に持役を演じる爲には、先づ細心の工夫、研究と周到なる用意を必要とするのであります。これが出來て始めて大膽に果斷に

演り得る

自信も生じるのであります。又そこから妙演技も生れて來るのではないかと思ひます。かうした私の日頃の考へと、私の新年初頭の念願と全く一致するダットサンの操縱が元旦の神詣でと廻禮に役立たなかつた事は緣起を重ずる私にはかへす〲も遺憾に思へてならないのであります

支那の珍習俗(下)
新しい衣裳と纏足の夢
清濁併せ呑む支那の貌
何のこれしき奇とするに足らんデス

△蓄妾

妾を持つこと、これは日出る國の君子をもつて任ずる日本にもみられることで敢えて珍でもないが、彼我その違ふところは正に堂々と正妻と同じ屋根の下に住ませ、二號、三號とかし妾には本妻が親しく命名式を行ひ「お前は今日から春子と呼ぶよ、お前は夏子だよ」といつた調子、尤も支那にそんな名前はないから多くは「順有」とか「旺喜」といふ芽目度い名をつける

□

何處までも大つぴらである、だから妾横町なるものは北京にも上海にも存在しない、そして本妻と同じ邸に住むところから如何に親父が寵愛しやうが本妻には女中同樣こき使はれるので妾たるもの居汚たなく座敷にころがつて講談雜誌を讀んで居たり年寄りを顎で使ふわけには行かない

□

次に、ではどうしてかういふ蓄妾といふ一夫多妻制の變態的な形式が發生したのかといふに、一つには男性の餘剩精力を飽和させるためであり又男の子の相繼者を求めるためである、そのほか妾もないやうではといふ女を贅澤な裝飾物と見做す世間的な見榮もあり、若返りの淫らな迷信にもよるのであるが、彼等特有の經濟觀念にもよるのである 女中を使ふとなると餘計な出費となるばかりでなく安心して家庭內のことは任されない純然たる家族の一員とすればそれ等の氣懸りもないわけである、本妻もそれを當然のことゝして大きな氣持を忘れず從つて必要以上には角を生やさないで專ら一家の繁榮のため妾達を搾取するのである

△寡婦の殉死

福建省あたりに見られる奇習の一つである悲壯これに優るものはおそらくないであらう相愛の若い男女は感激の頂天に達すると多くの場合、愛の空手形を濫發するのが常で「あなたのためなら死んでもこの身は惜しくないわ」等と囁いたり、或は浪子流に「千年も萬年もあなたの妻ですわ」と言つてゐたかと思ふとその唇の乾かぬ中に他の異性に無中になつてしまつて恬然として恥ぢないのが多い世の中に、寡婦の殉死とはこれは又秋霜烈々ともいふべきであらう

□

夫を亡つた妻は身も世もあらぬ、とても生きては居らないと思つたら夫に殉ずる氣持を舅姑に打開ける、舅姑はこれを聞いて小婦の婦德を賞め讃えて、庭に高臺を作り、吉日を選んで親戚知巳を招いて殉死の式を擧げる、いよいよ當日になると寡婦は親戚一同に別れを告げた後、中庭の高臺に除々に歩を進め赤縄を首に卷いて縊死する、そこに居並ぶものはたとへ斷末魔のもがきをみても命乞ひなどはせず立派な覺悟ぢやと主人のため慶賀し烈々たるその婦德を讃えるのである 日本の切復に一脈相通するものがある

△等郎媳

まだ子供の生れない前に一人の娘を貰つて未來の子供の妻に決めておくことである こんな非道い親權の濫用はチト世間に珍しい しかも娘さんに氣の毒なことには娘が結婚適齡期になつてもまだ子供が生れない時は他へ轉嫁させるのであるが、この場合如何に彼女が純眞無垢な處女であつても世間はこれを既婚者と見做し出戻り扱ひにされて到底中流家庭には迎へられない、莫迦げてゐるが何とも仕樣がないのである

□

假令將來の夫となる子供が生れても女の方は夫が成人する頃は靑春を過ぎてうば櫻となつてゐる 妻は夫から見れば自分を手鹽にかけて育てゝくれた恩人であるが、年が多過ぎて女房のやうな氣がしない、自然夫婦仲もうまく行かないでゐると親は息子のために若くて美しい第二の媳婦を娶せるのだから等郎媳こそいゝ面の皮である しかし因習的な支那の社會では絕對に小婦の反逆を許さない

△一妻多夫

男が餘つて女の足りない甘肅省に古來傳つてゐる夫婦形態の一つである、男女關係は極めて混亂を呈し地に墜ちたりと言ふほかはない、この地方では兄弟數人で一人の妻を共有してゐることは普通とされてゐる、或ひは輪番に宿し或は白晝に宿るか、誰か先に入つてゐる時は一裙をかゝげて先入者のあることを知らせる、子供は生れた順に長兄の子とし、あとは段々弟に與へることになつてゐる

□

これに似てゐるのに廣東省始興縣地方の後家の婿取りといふのがあるが、これはもつと甚だしい 未亡人になつた女が生活に窮して來ると婿をとり條件をつけて姑や子供を養育させておきながら、別に愛人を家に引入れるのである かうして幾人かの夫は平然として同居し兄弟骨肉の如く親しくしてゐる 世間はこれを怪しまないのみかその未亡人を却つて有能の婦だとするに至つては畜生道と選ぶところがない

…………

まだこのほか一部の支那社會特有の奇習として慘虐な方法による嬰兒殺し(石で頭を叩き潰したり、生身を裂いたりする)とか、纏足による婦女子の後天的奇形、廣東の猫料理、鼠料理、性的搾取形態としての男色業(相公堂子)などがあり、いづれもわれ等を瞠着たらしめるに足るものゝみである

ラヂオ けふの番組
十二日(火曜日) (M・T・C・Y 新京放送局)

七・五〇 ラヂオ體操(東京)
八・一〇 氣象通報 入港船のお知らせ(大連)
八・一五 中等滿洲語講座(大連) 講師 秩父固太郎
八・四〇 朝の音樂(大連)
九・三〇 經濟市況(東京)
九・四五 建國體操
一〇・四〇 經濟市況(大連・新京)
一一・〇〇 家庭講座 正月に因む俳句の話 三木朱城
一一・二〇 料理獻立(奉天)
一一・三〇 家庭メモ
一一・三五 經濟市況(大連)
一一・四〇 經濟市況(東京)
一一・五九 時報(東京)

◎晝◎
〇・〇五 晝の演藝(奉天) 三曲 一、高砂 尺八 山城曙山 二、若葉 箏並三絃 澁谷雅樂代 箏 小松雅春
〇・四〇 ニュース(東京・新京)
一・〇〇 經濟市況(大連・新京)

十四日ラヂオの広告放送が出来ます。申込は2-一六五一弘報協会へ

三・〇〇 經濟市況(大連・新京)
三・五〇 經濟市況(東京)
四・〇〇 ニュース(東京・新京)
四・三〇 經濟市況(大連・新京)
五・二〇 ニュース・演藝(鮮語)
六・〇〇 子供の時間(大阪) 連續童話劇 日出ちやんのお手柄(二) 佐々木邦・作 多の巻 大阪放送童話研究會
六・二〇 コドモの新聞(東京) 村岡花子

◎夜◎
六・二五 青年の時間(東京) フランクリンの青年時代 理學博士 竹內時男
六・五五 カレントトピックス(東京)
七・〇〇 ニュース(東京) ニュース・告知事項・番組豫告(新京)
七・三〇 講演(大阪) 秋月左都夫
八・〇〇 琵琶(東京) 恩人碑 伊藤松雄作詞 榎本芝水作曲 榎木芝水
八・二五 哥澤(東京) 一、春は賑はふ 哥澤芝メ松 唄 二、小諸出て見よ 三味線 哥澤芝壽春 三、辻占 替手 哥澤芝百合
八・四〇 新日本音樂(大阪) 前奏曲 歌ふ春 新管絃社
九・〇〇 物語(東京) みづうみ シュトルム原作 JOAK文藝部脚色 千葉早智子
九・三〇 時報ニュース(東京) ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告(新京)
一〇・〇〇 新日本音樂(大連) 一、切鶯 宮城道雄作曲 箏本手 砂崎澄江 箏替手 砂崎葉末 尺八 横井山外 二、若水 宮城道雄作曲 箏 森井スミ子外 三、新曉 宮城道雄作曲 箏 砂崎澄江外
一〇・三〇 北滿の時間(哈爾濱)

學藝

戯曲時代への翹望

—現代劇を樹立するもの—

伊馬鵜平

※演劇時評※

戯曲時代來るの聲もずいぶん久しいものであつた。しかし本年こそは、それが空虚な掛け聲のみでなく、實質的な結實をみせようとしてゐるさういふ氣配が非常に色濃くなつてゐるのである、一九三六年において、その素因とみらるべき現象が數々あつたが私はこゝにつぎの三つを數へあげようと思ふ。

一、商業劇場の新作上演
二、戯曲文學の再認識
三、「新喜劇」派の擡頭

もとよりこれはたゞ便宜上三つに分けたにすぎないのであつて、細かくあげようとすればその素因は限りなく、それが故にまたこの三つは互ひに相關聯してゐるのである。

□

商業劇場が新作—といふ意味は在來のマンネリズムを打破し得べき新人の作品—をとりあげたうちで最初に目を惹いたのは、新派における眞船豐の登場であらう。しかし最も積極的な意義をもつて新人を求めたのは、新派から獨立した井上正夫一座の所謂中間演劇である。此欲求に應じて現はれたのは、久板榮二郎の「斷層」であり、三好十郎の「彥六大いに笑ふ」であり、また八木隆一郎の「熊の唄」等である。これらはそれぞれ大劇場の舞臺において、新劇ほど高踏的ではなくまた新派ほど妥協的ではない、つまりその中間の雰圍氣を覘つた劇として一先づ成功を收め、井上一座の目安も、これでほゞついたかにみえる、そして新人の新作上演價値がはじめて顧みられ、この方面への拍車はますますかけられて來た。これと相呼應して新人を物色してゐるものに左團次一座があるが左團次は最近「自由劇場」の再建を目指して劇界にセンセーショナルな話題をなげかけたが、夙くより各演劇雜誌に推薦を求めて、新人四氏の作を得、現に十二月興行にはその一人、今村紳一郎の「月が城」を上演してゐる、これも引き續き第二回の募集を行ふさうであるから、新人の活躍舞臺はますます擴大されたわけである。

□

一方、新劇においては最近「新協劇團」「新築地」等の活躍めざましく「ファウスト」「どん底」「守錢奴」等の公演は、新劇としては未曾有の觀客の大量動員を行ひ得た。この事實は新劇が非常に大衆を意識しての舞臺企劃を樹てるやうになつたからでもあらうけれども、有名すぎるほど有名な古典戯曲の上演といふことが、その成功の因をなしてゐることは疑ひのないところであらう。即ち、戯曲文學を再認識しようといふ風潮に合致したわけであり、この風潮はまた文壇における最近の現象でもあるのである。小山祐士の「瀬戸内海の子供ら」が、芥川賞の有力なる候補にあげられるにおよんで、文學の分野にて忘れられたかの觀あつた視線が再び戯曲に向つて集中せられた、すくなくとも戯曲は小說より面白しといひ、續いて文學としての戯曲、上演臺本としては戯曲迹が論ぜられるに至つたのである。古典戯曲の上演は、故に一面これら論議の渦を捲やすものとなつたわけであり、從つて再檢討に價するそのドラマツルギーは今度は全然新しき衣裳のもとに、戯曲創作の一モメントを與へる結果となつた各學會雜誌、文藝雜誌の創作欄に、漸く戯曲掲載の度數が增加するに至つたのは、かゝる關係からして戯曲に對する認識が新にされたものといはねばならぬ。

□

「新喜劇派」といふのは、雜誌「新喜劇」による最も新しい演劇運動の一群である、彼等はほとんどその大部分が、所謂レヴユウ劇場と呼ばれた大衆娯樂の小劇場の座付作者であり、單なるスペクタルに過ぎなかつたコメディ・ファースを、一つの純粹演劇形式にまで高めんとする努力を續けて來た、そして今や「新喜劇」としてこの國の演劇に一つの新しいジャンルを確立するに至つたのである。故にこの作品の特徴は、百パーセント舞臺的である點にある。つまり觀客をこれほど意識してゐるものはなく、觀客とゝもに向上して來た演劇であれば當然のことであらうが、その實に觀客の動向を察知し、その求むる魅力に滿足を與ふべきドラマツルギーの新しき形態を發見してゐるのである。新生面の打開に迫られてゐる新派が、阿木翁助、鹽谷國四郎等の新喜劇作家の作品に眼をつけ出したといふのも、實はこの點こそ考へるからであつて、古川綠波一座が丸の内で當りを取つてゐるといふのも、新喜劇的雰圍氣の中から生誕した劇團なのだからであり、菊田一夫、穗積純太郎などを擁してゐるがためである その他、島村龍三、齋藤豐吉小崎政房等々、「新喜劇」の一派は、小山祐士、川口一郎、田中千禾夫等の「劇作」一派とゝもに最も戯曲活動の旺盛な二潮流であるが、實際の舞臺においてつぎつぎに效果を試してゐるだけ、實にヴアラエテイは豐富である。「新喜劇」こそは疑ひもなく一九四七年の演劇界のホープであらう。商業劇場においてはその大衆性の故にレパートリイの最上位に加へられ「新喜劇」が主命とする社會諷刺は新劇において一つの前衛的セメントとして發展するであらうと考へられる。

□

ともあれ、これらの素因によつて招來されたところの劇曲時代には、おのづから一つの目標に向つての研鑽がなされなければならぬ筈である。それは何か、新劇も商業演劇もこれまで一つとして眞實に創り出し得なかつたところの「現代劇」の樹立には、しかし、これまでの「新喜劇」の確立を圖る努力が一番近しいのである

窓

選外詩

竹迫一笠

青い奔放な意志も
夜は
ゆきの瀝に凍りついた
遮蔽された焦慮よ
夏雲にのせたゆめは
あゝ二十四の
永遠の孤線にきへて
無雜で玲瓏な空を
永遠の憧れとして心に描きつゝ
汚れた生活を覗凝め
沈默に馴れて來る日毎に
まどに氷柱のみがかたく
伸びて行つた

ゲキバク機

「別離」—西小百合氏の作—

『滿洲行政』一月號所載、西小百合氏の創作、「別離」を讀む。

描かうとしてゐるものはわかるのだが、どうも親しめない。殊に會話の拙さがめだつて、一九三七年初頭の作品としてはうなづき難かつた。

若い女性の職場、そこにどのやうな「不滿」を感じたかがもつと描かるべきであつたらう。ただ一人の男の同僚との表面的な交渉だけをながながしく描いて愚痴みたいなものにしかなつてゐないのである。そして最後になつて「ひそかに彼女を愛してゐた」「心は痛くうずくのだつた」といふ別の男がちよつと現はれて來たりして散漫な結末となつてゐる。

作者は「別離」から別離することが必要である。(P・S・M)

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し(係)

△日本古書通信(一月號) 尾佐竹猛「本邦初期新聞雜誌解題」田中慶太郎「武英殿聚珍版について」庄司淺水「書物を食ふ者」學界ニユースその他古本紹介等を盛る(東京市神田區小川町三ノ二四、日本古書通信社 三十錢)

コント うどんかパンか (上)

石川達三

O市の東方二里ばかりの所にSといふ小さな町がある。こゝの町立高等女學校の校長先生は鳥なき里に於ける有力者であり、最高の教育家でもあつた。

彼は或日校長室の窓から、うらうらと晴れ渡つた秋の陽に照らされてはるかに擴がつてゐる田畑を眺め乍ら考へごとをしてゐた。

「どうも生徒達の健康が、年々わるくなつてくる樣だ。これは何としても棄て置くわけにはゆかんぞ」

と獨語したのである。そこで彼は緊急指命を飛ばして、その日の晝食時間に各クラスの生徒の辨當を一齊に檢査させて見た。

ところが驚くべし!欠食女學生が一〇パーセントに達してゐる—その他殆んど若干一讀のオカズしかないものが約半數に達してゐる。校長は腕を組んで頭を垂れた。感慨此處に無量の態である。これ程までに農村は窮乏してゐるのか、そして政府は一體何をしてゐるのか。而かも農民達はこれ程の窮乏の中から食を節しても猶且つその子女を女學校に送り出してゐるのであるおー!彼等は教育の尊さを知つてゐるのだ……

感心してゐるばかりが能ではない。

何とか率先して生徒の健康をとり戻してやらなければならない。それには先づ生徒全部に向つて然るべき榮養糧食を安價に提供してやらねばなるまい。それには一體何がよいであらうか。……うどんが宜い……

と校長はハタと膝を叩いて立ち上つた。さうだ、うどんならば安くもあるし、滋養とても充分ある。彼は自轉車にのつて、町のうどん屋へとかけつけた。そして萬般の相談やら計算やらに沒頭する事數日やがて校庭には白紙に墨黑々と貼紙が出された。今後は晝食は持參するには及ばず。一食分金五錢也で以てうどんを支給する、といふのである

斯くて玆に全世界にその類を見ざる珍風景が現出した。

正午近くなると、校舍の隅から何んとも言はれぬうまさうな匂ひがゆるゆると立上つて、校庭に流れ、生徒一同鼻をピクツカせてピクピク動かしてゐる。授業も手につかぬといつた具合でそはそはした空氣で緊張してゐる。

そして炊事場に於いては、當番の女の先生が汗だくだくになつて薪木をくべるやら、小皿に汁を掬つてチユツと味をきいてみるやらツルリと一本食つて見て煮え加減を吟味してゐるといふ和やかなる風景である。

正午である、チンカンチンカンとベルが鳴る。カボチヤの如き女學生共は崩雪を打つてワツとばかりに押しかけるそれを追い返し乍ら、先生は各教室に大鍋一杯のうどんを運搬することとなる。然乍ら運べとも運べども生徒達の食慾は天高く馬肥ゆるどころの騷ぎではなかつた。

「校長先生」と恐る恐る一人の女教員は訴へるやうな口つきで言ふのであつた。

「何ですか」

「あのう……うどんが少し足りません」

「ほう…今日の分は昨日の分より增さしたんでせう」

「えゝ、二十玉ふやしました。」

「うむ、明日はもう二十玉ふやしましよう」

「はい」

校長は計算した。一人當り五錢、生徒全體で收入廿二圓五十錢也。支出二十四圓九十錢也。あゝまた今日も自腹を切らねばならんか、校長の收入は百四十圓である。一日に二圓づゝ損をすれば六十圓の減俸と同じである。これは困つた、と校長は再び腕を組んだ。

「これは困つた」と腕を組んだのは校長ばかりではなかつた。裏家のオカミさんも亦そう思つたのである。何となれば、女學生達は學校でうどんを支給されて五錢づつ拂つて居る。家から辨當を持って行けば三錢五厘で濟むのである。その上發育期にある少女達の食慾はうどんを以て充たすべく餘りに勇ましかつた。

學校から歸つてくるや否や「母さん腹へつたア。飯ウ食ふぞナ」と言つてパクパクと二杯位はペロリと平げてしまふので、

「困るぞな、ほんとうに」と女房は父に訴へた。

「そんなら何もうどんを食はにやならんことア無えが。元のまゝに辨當を持たせてやりア」と父は言つた。

斯くて、うどんを希望する生徒は次第に減少して行つて一ケ月とたゝない中に、辨當は元の狀態に逆戻り、校舍の台所は晝の飯時になつても門前雀羅。

慢性モルヒネ中毒症…に
福モナール
MANUFACTURED BY JUNTENDO CHEMICAL LABORATORY CO
monal
SOLE AGENT GOMEI TANABE & CO. LTD OSAKA JAPAN
モヒ中毒の治療はあらゆる方面の熱意と努力とに拘らず依然として醫學上の最上難問の一つである之を目的とした製劑は既に夥しく今猶益々續出されつゝあり爲に患者は其等治療劑に習慣となる結果何れも効力充分ならざるに惱む者多し、斯る場合モヒ中毒特効劑として著名なる
福モナール を試みよ
福モナールは從來幾多の實驗に徴するに麻藥類慢性中毒症に對し獨特の解毒作用を營み僅に一—二個の注射に依り平素渇望せるモルヒネ塩類の用量を著しく減じ体内に蓄積せる異常物質の排出を促し患者の尤も苦痛とする禁斷症狀を長時間抑制す、他方隨伴症狀を緩解せしめ心身爽快夜間の安眠營養健康を著しく快復せしむ
包裝 皮下 靜脈各種
適應症 阿片・モルヒネ・ヘロイン等慢性中毒症
文獻贈呈
滿洲各地著名藥店に販賣す
發賣元 大阪道修町 株式會社 田邊五兵衛商店
製造元 順天堂醫化學研究所

國際銀公司の全貌暴露
正體顯した"黑龍王"實は一介の浮浪
馬賊を百萬長者に祭り上げ まんまと知名士を欺瞞

十二月三日王寅恭の賣り出した株に端を發し岡田新京署高等主任の東上にまで擴大した國際銀公司事件も陰謀の全部が白日下に曝され剩へ副産物として同公司自體の大なる詐欺背任も暴露するに至つた

即ちすべては『十七才の御時より滿洲に御出遊ばし國策に陰に陽に獻身的奮闘を遊ばし此の度の事變に際しても大なる功績があり滿洲で禁衛軍と稱する關東軍たりとも足一歩を入れること能はざる權能ある軍の支配してゐる地域の大總統であらせらるる黑龍王殿下』といふ業々しい振れ込みで大官、政界、實業界の大立者を相手に企らまれた架空の大芝居であつて、黑龍王の正體こそ實はもと滿洲浪人で馬賊を集めて禁衛軍なるものを組織せんとして關東軍より治安を亂す者として

同軍は

解散本人は論旨退去を命ぜられた東京市青山區南町五丁目安藤三之助(四十六)の世を瞞着した姿である、退去を命ぜられた安藤は滿洲を種に一儲せんと已れの絶體支配下にある一大地域が滿洲にありそこには廿余の大石油鑛があり現在燃料問題に困惑中これを開發することに依つて日本の燃料問題は解決する、自分はこの國策の爲めには獻身の努力と犠牲を惜しまぬと町田某、小泉某に宣傳させまんまと南樺太石油會社社長外廿餘會社の重役を兼ねる後藤幸正氏を瞞着したことに事件は始まる、信じ切つた後藤氏は當時何等事業をやつて居らぬ國際銀公司副總裁徳光好文氏に此の話しを持ちかけた處幽靈會社を持て余して居た徳光氏は渡りに舟と數度折衝の結果四百萬圓にて同公司をしてこの仕事に專念することに約束の成立を見た黑龍王は已れの貫録をつけるはこゝと以前滿洲浪人時代釜を共にした馬賊上りの素寒貧王寅恭、劉萬、程俊峰を威赫して上京を促しこれを大資本家百萬長者に祭り上げて在京名士に

招介し

王寅恭氏、劉萬氏に同公司に四百萬圓出資するかの如く裝はせ事業と會社に一層の確實味を懷かしめ第三者の出資を待ち已れの私財を暖め一方王、劉兩氏には銀公司を有力會社の如く説明し王をして滿洲に同公司の株を賣らしめんとし王氏は過分の優遇と安藤の甘言にまどはされ有頂天になつて歸滿賣捌きに着手して新京署に怪しまれ今回のカラクリの内容を暴露するに至つたものである

大事件の探査
殊勳の岡田警部と塔尾警部補

王寅恭氏を繞つての千二百萬圓詐欺事件取調べの爲め東上の岡田警部、塔尾警部補は苦心慘憺の結果全貌を明かにし重責を果したがその取調べ中徳光氏の申し立てに曖昧な箇所があり加へて大正十五年以來郵便ビルに月々四千圓の家賃を支拂ひ事務所を構へ何等一邊の事業もせず家にあつてはまた人の目をそばだたしむる豪奢に日を送る事に疑惑を懷き内偵の結果僅か一句にして同公司が事業會社を名目にして大正十五年以來一株二十圓にて五萬株を株式取引店を通じ事業資金として賣り出し百萬圓の金を集め株券一枚すら印刷せず全部を有耶無耶に消費しなほ且つ現在では一萬八千餘圓の借財あること又重役監督、顧問等の名のもとに陸軍中將鈴木一馬、三井清一郎、一等主計正平田爲治、同荻坂三越重役鈴木梅四郎、兒玉右二、東京米穀取引所理事長加川芳太郎、法學博士花岡俊夫滿洲英字新聞社長高柳保太郎元横須賀市長小栗盛太郎、貴族院議員坂西利八郎等の諸氏をかつぎ上げ大掛りな詐欺を行つてゐたことを探査し警視廳に移牒したことは大いなる殊勳で警視廳は事件を外事課から搜査第二課に移し嚴重究明することになつた

海軍大學生 張總理訪問

來京した海軍大學甲種學生二十八名機關科學生十名各教官に引率されて十一日午後三時から國務院を訪問、張總理と會見した

【寫眞は張總理と會見の一行】

遺骨お通夜 今晩九時から

各地に轉戰不幸匪彈の犠牲となつた將士の遺骨二十體は十二日午後四時二十分ハルビンから着京、同七時四十分京圖線より三體着京新京驛から日本橋通りを東一條—吉野町二丁目—東二條通り—祝町に出で太子堂に至り新京の分四體と合せ同夜九時から同所で讀經お通夜の上十三日午前十時新京驛發凱旋の途に上る、遺骨通過沿道の居住者は必ず弔旗をかゝげること

黄い(マーチョー)呼聲不要
馬車、人力車に駐車場
特別市内二十四ヶ所を決定

交通統制、事故防止等の見地から首都警察廳保安科で設置個所の選定を調査研究中の馬車、人力車の駐車場は左の如く特別市内二十四ヶ所と決定近く「マーチョー」と呼びかけることもなく、そこまで行けば何時でも馬車、人力車が常駐してゐるところから利用者に多大の便宜を與へるものと見られてゐる、駐車場の廣さは長さ二十五米、巾一米半で標識機の出來上り次第實施されることになつてゐる

馬車—興安大路滿洲國官吏消費組合前緩行車道▲興安大路菊地ビル淺中表具店前緩行車道▲大同大街三中井東出入口前緩行車道▲大同大街康德會館東出入口前緩行車道▲新發路帝都キネマ出入口前緩行車道▲民政部前▲西四馬路西方泰發合前▲永春路魚菜市場入口前車道▲東五馬路國泰路活動寫眞館入口車道▲永長路東三馬路派出所前車道▲長通路東大橋派出所前▲長通路元首都警察廳入口前▲吉林大馬路二道河子西三道街▲大經路四道街警察署前▲長春大馬路南大街交叉點右

人力車—興安大路舊バス停留所▲昌平街(興安大路入口)西側▲大同大街豐樂路交叉點西側▲大同大街北安路交叉點▲新發路帝都キネマ前▲民政部前東四馬路、馬路入口右側▲西五馬路大馬入り左側

京商ホッケー勝つ 對八戸中學戰

日光細尾リンクにおける全國氷上選手權大會に出場の新京商業ホッケーチームは十一日八戸中學と第一回戰に相見えたが、難なくこれを撃破し、十二日第二回戰に盛岡中學と對戰する旨學校當局に入電があつたなほスピードにおいては大川博選手は千五百メートルで三着に入勝(寫眞ホッケー軍)

お正月飾物の消却祭

新京神社では十四日午後四時からお正月用七五三繩、門松その他飾物の消却祭を行ふから各家庭でも取纏めて同日新京神社まで運ばれたいと

室町校寒稽古

室町小學校では十一日から向ふ二週間毎日午後四時から五時まで六年以上の武道寒稽古を行ふ

ふられて服毒

特別市北大街三四文具商三三商店々員台北海淡水郡林蔭福(二十二)は兼ねてより艶春院の妓女馬全玉(十七)に逆せ上りせつせと通つてゐる中金につまり馬全玉からはつれなく當たられすつかり悲觀し十日午後十一時五分馬全玉のもとで服毒自殺を遂げた

朝陽甲對龍山に六人組强盗

十日午後五時ごろ小合隆警察署管内朝陽甲對龍山農業康萬邦方に突然六人組强盗(内四名は拳銃他は棍棒を所持)が押し入り、恐れ戰く家人に拳銃を亂射、康萬邦は臀部に、康玉書は左脚に、康風(「は腰部に何れも重傷を負ひ朱に染つて昏倒するや賊は悠々と室内を物色、目ぼしい物を掻つさらつて何れともなく逃走した、急報に接し小合隆署より司法主任以下七名、自衛團員十名が現場に急行檢證をなすと共に被害者を附近の病院に運んだがいづれも重態である首都警察では十二日搜査股主力が現地急行、事件を匪賊の仕業と見て檢索に全力を盡すことになつた

新京金融組合
組合銀行に加盟
一般今後の便宜増大

新京金融組合の手形交換所加盟に關しては豫てから總領事館に申請手續中であつたが、愈よ十一日附認可があつたので十一日から手形交換に加はることゝなり、從來組合銀行で預金その他は受入れを行はなかつた金融組合の手形は中銀總行、興銀南廣場支店、新京銀行、正金銀行の各行で夫々受拂されることゝなつた、興銀設立以來市民の金融機關として大きな役割を力めてゐる金融組合の組合銀行加盟は市民の便益を増大するものと今後の活躍が期待される

新京を語る會

滿鐵社員會で發行の「協和」二月一日號は新京特輯號として發行されるので新京聯合會では着々材料蒐集に努めてゐるが、各分會で新京永住者一名づゝを選んで十二日午後一時から事務局で新京の今昔、傳説名所舊跡その他「新京を語る會」を催す

赤羽氏母堂追悼會

新京聚德會長赤羽双一氏母堂追悼會は十一日午後三時祝町太子堂で盛大に擧行された

大陸を舞台とせる 國際スパイ戰(五)
血の滲むが如き赤白暗闘史

永遠の悲劇

アカシアの花咲く五月のハルビンはエトランゼにとつては帝政の夢まどらかな美しき街に見へるかも知れない、しかし現實の哈爾濱は祖國を追はれ革命を呪咀するエミグラントと赤色共産分子の血のにじむ様な暗闘史を綴つてゐるのだ、我々はこの街にロシア革命が齎した人類の深刻な悲劇を眼のあたり見るのである

北鐵讓渡交渉が東京で一頓挫して白系露人は響くが如く俄然活潑な活動を開始した、その頃一九三四年九月の或る日、ハルビン驛前から陸橋へかけて次の如き全文赤色地獄を呪つたビラが何物かの手で撒布された

ソ聯人諸君!諸君は共産政治下における平等主義、無産階級主義の實際が如何に無産者を無限の境へ陥れたかを痛感したであらう、壓制と飢餓、寒氣と勞働が諸君の日課であり、晝となく夜となく暗黒の政治は續いて行く、しかも赤魔はなほ暴虐なテロ行爲を止めず、諸君の眺望に續くものは、はてしない灰色の世界だ、冷めたい煉獄を棄てゝ曾つては諸君の同胞だつたエミグラントの抱擁を受けよ、滿洲帝國には自由があり明日への約束がある、來り投降して暴虐無道の共産政府を撲滅せよ

一讀して此の激文が何者によつて撒布されたかは頗る明白である、帝國復舊はエミグラントの宿題であり、赤白の暗闘は永へに地上の一隅に織りなされるであらう

怪!生首事件

さて一九三三年の新春、この赤白露人の暗闘を物語る好個の事件が持ち上つて、ハルビン市民を驚奇と戰慄の渦中に巻き込んだ

一月六日といへば、舊暦を慣用するロシア人のクリスマスに當つてゐた、白露人たちは前夜來ウオツカに醉ひしれて、踊り狂つてゐた、その日の午前三時過ぎこの騒ぎに乘じて、ソヴイエト領事館の庭先きに異様な人間の生首を投げ込んだものがあつた、鮮血したゝる生首は白雪を染めて無氣味にころがり、兩耳には「煽動者の死様を見よ」と血で書いた斬奸狀が針金で結びつけてあつた

ところが此の奇怪な事件が起る前、滿洲國官憲はも一つ不可解な事件に遭遇した、すなはち一月四日の夕方、松花江對岸の夏の歡樂境ザトンに火災事件があり、意外にもその燒跡から首のない人間の胴體が半ば燒けたゞれて發見されたのであつた

二つの事件が繋りを持つことは誰にも想像された、俄然官憲の大活動は開始されて、間もなくこの被害者が買物市場に居住するドミトリワシリエウイツチ・オグニヨフと言ふ男であることが判明した、さて慘殺されたオグニヨフとは何物であらうか、當時白系露字紙によつて報道された事件の全貌は次ぎの如きものであつた

□……□

オグニヨフは革命當時赤、白兩軍の間を渡り歩いてゐた男で、その後哈爾濱に來てからは、ブローカーを業とし、東支鐵道の仕事を請負つたりまたソ聯領事館に出入して請負工事等をやつてゐた、彼はその頃からエミグラントのパスポートを所持し、約二年前から白系仲間ファシスト黨に入黨してゐたのであつた、彼はその間、巧みにソ聯領事館より種々の情報を入手してファシスト側に齎へ、自己の勢力を張らんとした、しかしファシスト仲間では容易に彼を信じなかつた、オグニヨフはパスポートを持つてゐるのは方便で、彼は赤色スパイであると睨まれ、早くから彼の身邊を監視してゐたのであつた

つまり彼は、典型的な職業スパイであつたのだ、では誰が何故に殺したのであらうか、赤系の仕業か、白系の仕業か、怪奇を描く疑問符は深まつて行くばかりだつた、白系側ではオグニヨフは表面白系を裝ふてファッショに入黨し、赤の暴露を敢てした、赤露の秘密を知悉してゐる彼が裏切者として慘虐な赤色の魔手にかゝつたことは、明白な事實であるといふのであつた、これに對し赤色側では、オグニヨフは堂々たるファシスト黨員ではないが事件がファシスト仲間のリンチである事は何等疑ふ餘地はないと主張した、双方の言分は謎を解くに役立たなかつた、ところがここに事件を更に獵奇に包む新事實が探知された

「オグニヨフを殺したのは美貌の女共産黨員だ」—といふのであつた、それはかうであつた、正月二日の夕刻、賑かな哈爾濱のヴロードウエイ、キタイスカヤの人込み中で、赤毛皮のシューバにくるまつたコムソモルカ(女共産黨員)らしい若い女と手を組んで、愉快氣に散策してゐたオグニヨフの姿を見かけたものがあつた、その夜深更彼はキャバレオタスヨークでその美貌の女と踊り狂つてゐたがひどく醉ひしれて、女の介抱を受けてゐたといふのである、新しく登場した謎の女の正體は何者であらうか

オグニヨフには、二年前から心に秘めた戀人があつたそれは共産黨出身の赤い花彼女の名前はターニヤと呼ばれてゐた、ターニヤは最近までソ聯領事館に勤めてゐて、黨員の信望もあつくオグニヨフとは彼がソ聯領事館に出入して居た頃知合となりそれ以來二人は赤い戀を囁く仲となつた、しかし男がファシストに入黨して以來、とかく同志を裏切るが如き言動が感ぜられ、遂に或夜二人は酷い激論した

「ねえオグニヨフ!貴方にも判つてゐるでせう!私共、共産黨員には命令の前には親をも殺す鐵則が嚴存するのです、相容れない主義を抱いて相互に愛し合ふことは出來ません」

かうして彼女は戀をすてゝ主義に生きんと、ぷつゝりと縁を切つてしまつたのであつた、そして彼女は彼を同志の裏切者として仲間に報告した、裏切者は容赦なく慘殺さるべきであつた、屈强なオグニヨフを暗から暗へ葬むるべく赤い主義に燃ゆる彼女が、自らその役を買つて出たことに何の不思議もなかつた

それから間もなくであつた多枯れた松花江の對岸にはひつそりと幾棟かの貸別莊が宵暗に並んで立つてゐるそこに一隻のボートが漕ぎつけられ、シューバーに深く顔をくるんだ數名の黒い人影がうごめいてゐたがやがて人影は對岸の闇に遠く消へ去つた翌朝未明貸別莊は怪火を出して全燒した、その燒跡からはたゞれた首無し死體が發見された、それから二日經つて、ハルビン市民の戰慄と官憲の活動を尻目に一方の生首は「煽動者の死様を見よ」と紙片に記されて場所もあらうに、ソ聯領事館の庭先きに投げ込まれたのであつた

官憲の躍氣の活動も空しく、覆面の人影は、逸早く國境の彼方に姿を消して顕魔の笑をもらしてゐるのであつた(完)

プロレンソーダ

日滿連絡機の操縱桿を握る新京飛行場の片桐保一郎操縱士は渡滿五年▼十一年末の累計によると滿蒙の空を飛ぶこと五千四百四十三時間四十三分▼これ日數に換算すると二百二十七日間飛び續けたことになる▼一方金丸末義操縱士は三千六百時間といふからこれも百五十日間飛び續けてゐる▼飛ぶのが商賣とは云ひがらこれぢや鳥類も顔負けするだらう

妖魔往來

（講上演映）　桃川燕二演　内山鉦太郎畫

一五三

宿はコツ〳〵と通抜けた宿の茶屋に休んで

『姐さんや一本つけてくんな』

『ハイ畏まりました、お肴は』

『見繕ひで好いや、三人前頼むよ』

縁臺を相手にチビ〳〵飲んでゐると、表を通りかゝつた立派な身分の男、商人でなし百姓では無論なし遊び人にしてはまじめらしいし、職人風でもないと云ふ一種異體の分らぬ人物

『オ、お前は大阪屋じやないか』

『ヤツ松相模の旦那でしたね、』

『こちらへ來たら何是おれの所へ寄らねえ、どこへいつた』

『イヤ早お話しにもならねへ災難に逢つちまいました』

『ホウ災難、どうした』

『こんな所で失禮ですが、マアおかけなすつて――』

『オヽチトやすんで行から、ねえや何からまい物で酒を持つて來てくんな』

と大阪屋の傍へ腰をおろした、小茶屋の片隅に熊吉のくる前から腰をかけた大兵肥滿の武士一人、五六本の徳利を前に並べて頻に飲んでゐたが、今兩人が大阪屋ぢやないか、松相模の旦那でしたねの名乘合に聞耳をひッ立、チロ〳〵こちらをみながら話の模樣を聞いてをります、是別人ならぬ小野光五郎道順先生でございます、

此八王子といふ所は機場で宿の中程にヅーツト女郎屋が軒を並べてをります、甲州路の内では此處が一番宿場女郎も澤山ゐたのでございます、大阪屋熊吉は女を賣買してゐる女衒、まして江戸に近い八王子付近は毎度きて女郎屋の亭主に知り合も多い、此處で出合つた松相模の旦那と云ふのも女郎屋の亭主なのでございます

『旦那、わしも稼業を始めて二十年、今度のやうな災難をついたのは始めてでございます お話し申すも小ッ恥かしいが、實は甲府柳町の櫻屋の旦那に玉を賣込んだのでげす、其玉ときたら素晴らしいもので、吉原へ出しても直に山形が附かうてえ位、櫻屋さんも大喜び込んで直に手金を出し年一杯で三百兩と極つたんでげす尤も玉出しが二人ついてゐて、其玉を叶縄屋の衆の駕にのせ私と共に四人づれで甲州路へはいり猿橋迄きますとね、跡から浪人者が追かけて參りました其奴が亂暴の奴で、いきなり玉出しの男二人を切殺し、駕を吊つて逃げやうとした私共、下手にまごつくと殺られる所だつたから、仕方なく駕をおいて逃げました、其置いたはずみに駕が倒れて玉は眞ッさかさまに猿橋下の桂川へ轉げ込んだのでございます』

『ヤツこりや成程大變な事をしましたな、玉はどうなつたね』

『玉は鳥澤の河原で上りましたが、それは土左衛門になつてゞございます、すると其處へ玉出しを切つた奴がノソ〳〵やつてきたぢやありませんか、實にどうも大膽不敵の奴でね、そやつを宜い按排に八州の宮部の旦那がきてフン縛つたのです、浪人者の名ですかい、宇都宮八郎と申しました』

此話しをきくと小野光五郎先生

『コレコレ町人――』

『エッ是れはどうも――』

『彼は、今宇都宮八郎と申したやうだが、その八郎に用があるものだ、今どこにゐる』

『エ、其人のゐる所は存じません』

『イヤ話しても差支へないものだ、あちらできけば八州の役人に召捕れたとあつたが』

『ヘエ、あなたはどう云ふお方か存じませんが、正吹な話しをしたら別段にお腹のたつ事もありますまいからお話し致します、』

家庭醫學

結核に寒冷は害とならぬ　必ず開放療法を！

嚴しい寒さは、病弱者殊に結核患者にとつては、好ましからぬ影響を與へる樣に考へられますが、實際は、夏の暑さが體内の新陳代謝を昂進させ、體成分の

―消耗―

を來すのと反對に冬の寒さは體組織を緊張させ、不必要な新陳代謝の昂進を防ぎ、體内に備はる自然治療作用を助けますので、その療養効果は一冬が二夏に當るといはれる位、世界で有名な結核療養所は、北米サラナック・レーキのトルドー療養所、アルプスのダボス療養所をはじめとして多くは高山寒冷の地を選んで建てられてをります。

あまり風の強い所は、療養に適しませんが、さうでなければ雪や氷はむしろ療養の友であり殊に冬の空氣は濕氣が少く、紫外線にも富んでをりますので、出來るだけ病室の戸窓を開放し、十分にその恩惠を受けるやうにすべきであります。

もちろん療養生活の

―要諦―

は外氣の利用だけに盡きるのではなく、これと同樣、むしろそれ以上に大切なのは、榮養の充實といふことであります。これは世間一般に考へられてゐる樣に、金のかゝる贅澤な物を食べよといふ意味ではなく、只いろ〳〵な榮養成分を偏頗なく攝るやうに、安くとも多種類の食品を配合して調理することが肝要であります。

―活力―

を與へて更生せしめる細胞原形質賦活作用であつて、これによつて衰へた胃腸は、組織から丈夫になり、食慾が旺盛になつて、食物の消化吸收が活潑になつて來ますがそれと同時に、若素（わかもと）中には、アミノ酸、グリコゲン、カルシウム、ビタミンA・B・D等、日常食物中に不足し勝ちな貴重な榮養成分をも含んでをりますので、相まつて全身の榮養を增進し、體力を充實せしめて、療養の効果を完うすることが出來るのであります。

す。

併し結核には大抵胃腸障碍を伴ふもので、折角榮養に富む食物も肝腎の胃腸が衰弱してゐて、食慾がなく消化も不十分では、効果がありませんから、この場合には胃腸の實質を强め、その機能を高める活性ヘーフェ菌劑若素（わかもと）が缺かされぬ常備藥となつてまゐります。

この藥は非常に複雜な組成分を持つた微生物を、活性のまゝ專賣特許の方法で藥劑としたものでありますが、その中心となるべき作用は、衰弱してゐる組織細胞に

煖房受難時代　血液を毒する空氣の汚染　★★★

從來の日本家屋の樣に、開放的で隙間が多いと、煖房に不便な代りに、風通しがよく換氣は十分に行はれますが、最近は建築に洋風が加味され、隙間が少くなつた結果、煖房の

効果はあがりました

がそれだけ空氣の汚染による害も多くなつて來ました。

スチーム、あるひは電氣を應用した煖房ならば、瓦斯が出ないので害も殆どないわけですが、費用の點から一般に使用されず、通常使用されるのは木炭、煉炭、石炭あるひはガスストーブ等で、これ等は多かれ少かれ、種々の有害な瓦斯を發生します。中でも特に一酸化炭素といふ瓦斯は非常に有毒なので、これが體内に入りますと血液中のヘモグロビン（血色素）と結合し、血液を破壞して激しい中毒症狀を起すのです。健康な人でも空氣中に〇・〇五％の一酸化炭素が出來ますと、中毒症狀を起すので

病室に使用する際

には、特に氣をつけなくてはなりません。流行性感冒、肺炎などの樣に、病室内の溫度と濕度を相當に保つ必要がある場合には、電氣やスチームを用ひることが出來なければ、室外でおこした木炭の火を持込む樣にします。

結核、胃腸病等の樣に、病室内の溫、濕度の調節を必要としない場合には、煖房は出來るだけ使用することを止めて、患者の足部に湯タンポか電氣行火の樣なものを入れて、寒さを防ぐ樣にします。

併し最近は、事務所とか工場、學校といはず、家庭といはず、不完全な煖房のために健康者が蒙る害が輕視出來ないものとなり、既に表面に現はれない迄も不知不識の裡に

肉體を蝕まれ

健康を損ふことが多いのであります。

これが對策としては、煖房の改良も勿論必要でありますが、より大切なのは、少し位の寒さに煖房を必要としない身體を造る事で、平生貧血あるひは瘦過ぎて、人一倍寒さを感じる方には、活性ヘーフェ菌劑若素（わかもと）の服用をおすゝめ致します。

若素（わかもと）の中心作用となつてゐる「細胞原形質賦活作用」は、弱い體細胞に活力を與へて、全身の機能を活潑にし、血液の循環を旺盛にして、寒さに對する抵抗力を著るしく增大します。

それ許りでなく、胃腸の働きが特に活潑になりますので、榮養が增進し、血液は增加して、瘦過ぎの人は肉がつき、貧血の人も血色がよくなり、少し位の寒さではストーブの必要を感じなくなる許りか、體内の新陳代謝促進によつて惡ガスの害をも防ぐことが出來る樣になつて來ます。

この若素（わかもと）は東京芝公園大門内際、わかもと本舖榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）から三百錠入、千錠入、粉末九〇瓦入、二七〇瓦入等が一日分僅々、五六錢（小兒には一二三錢）の廉價で發賣されてゐます。

尚、滿洲國、中華民國の各地藥店でも取次ぎ販賣して居ります

年末の無理から肺尖カタルとなる

（富山）伏黒數馬

私は昭和八年四月より、京都の某商店に、小店員として奉公しました。（中略）年末のある日、三條大宮から嵐山の渡月橋附近まで配達に行き、汗ビショ濡れになつて（中略）店を閉めて直に床に入りましたのが三時頃でした。翌朝眠りから醒めますと頭が割れるやうに痛く、體は寢汗にビッショリになり（中略）それでも苦しみをがまんして、一週間働きました。頭痛は相變らずで、體は熱く燃える樣になつたかと思ふと、火の側へ行つても寒氣が致します。それに日增に瘦せ細つて行くのが自分でも感じられ、三度の食事も僅かお茶碗に半分位しか頂けず、近所のお醫者さんに診察して貰ひに出掛けました。血液檢査レントゲン等で診察の結果右肺尖カタルと申され、淋しく歸つて參りました。

御主人の奥樣は常々より體弱く知人のすすめで「錠劑わかもと」を服用して居られましたところ、大變元氣になられ、私が養生のため田舍へかへる時に熱心にすゝめて下さいました。それで直ぐに近所の藥局で「錠劑わかもと」を三箱買ひ求めて歸りました。自宅へ歸つて以來、二月一杯病床に寢たきりでした。體溫は朝七時頃は三十六度八分位、晝十一時より四時頃は三十八度内外、晩八時頃は三十七度内外でした。寢ればべつとり汗をかき（中略）四月頃には殆ど恢復といふ所まで漕ぎつけましたが、五月末頃雨降りに田植に出て濡れて、又體溫は三十八度に上り、胸の痛みも劇しくなり再び床につきました。七月頃には順調になり、熱も下り、今日では食事も大變おいしく頂け、體重は十三貫位しかなかつたのが十四貫五百位になり、又紙の樣に青白かつた頰にも血の氣がさして來ました。これ一日も缺かさずに服用した若素（わかもと）のお陰と喜び居ります。今では胸部の痛みも無くなり少し位の仕事は少しも體にこたへなくなりました。

のんきな人々

中島菊夫（畫並文）

1
「錠劑わかもと」はのむとあたまがよくなるってほんとかい
あゝほんとだよ

2
「それぢやうら山の化けタヌキたいぢできるかい
あゝできるとも

3
てんぐさまだぞこわくないかア、あれちつともこわがらないね
立てたカカシをおどしてゐるうちに

4
あとからそつとシッポをしばるんだよ
なるほどほんとにあたまがいいなあ